

平成 28 年度 被保険者のメンタル系疾患の動向に関するレポート

平成 30 年 4 月

IT 推進部 データ分析推進グループ

調査の概要及び対象データ

本レポートは、職場のメンタルヘルス対策の観点から、1,260 組合の被保険者(約 1,516 万人)の「医科」・「調剤」電算処理レセプト(1 億 3,041 万件)をもとに、<1>「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」、<2>「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」、<3>「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の有病者数や医療費について調査したものです。

調査対象疾患 (ICD-10 コード)

F20-F29		統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害
<1>	F20,F21,F22	①統合失調症、②統合失調症型障害、③持続性妄想性障害、④急性一過性精神病性障害、⑤感応性妄想性障害、⑥統合失調感情障害、⑦その他の非器質性精神病性障害、⑧詳細不明の非器質性精神病
	F23,F24,F25, F28F29	
F30-F39		気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
<2>	F30,F31,F32	①躁病エピソード、②双極性感情障害<躁うつ病>、③うつ病エピソード、④反復性うつ性病障害、⑤持続性気分[感情]障害、⑥その他の気分[感情]障害、⑦詳細不明の気分[感情]障害
	F33,F34,F38 F39	
F40-F48		神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
<3>	F40,F41,F42	①恐怖症性不安障害、②その他の不安障害、③強迫性障害<強迫神経症>、④重度ストレスへの反応及び適応障害、⑤解離性[転換性]障害、⑥身体表現性障害、⑦その他の神経症性障害
	F43,F44,F45 F48	

調査対象データ

組合数	区分	加入者数 (人)	医科・調剤レセプト 件数(件)
1,260 組合	合計	15,164,861	130,414,858
	被保険者	男性	82,034,130
	女性	5,086,322	48,380,728

※加入者数は、「合計」及び「男性」・「女性」の各加入者数を月平均により算出しているため、「男性」・「女性」の合計が加入者「合計」とは一致しない。

目次

I. 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害	
1. 医科入院外	
(1) 有病者数の動向	4
(2) 年齢階層別にみた有病者数（延べ人数）及び構成割合	6
(3) 1人当たり医療費及び医療費3要素	8
(4) 年齢階層別にみた1人当たり医療費	8
2. 医科入院	
(1) 有病者数の動向	10
(2) 年齢階層別にみた有病者構成割合	11
(3) 推計1入院当たり医療費	12
(4) 年齢階層別にみた推計1入院当たり医療費	12
(5) 推計平均在院日数	14
(6) 年齢階層別にみた推計平均在院日数	14
(7) 千人当たり推計新規入院件数	16
(8) 年齢階層別にみた千人当たり推計新規入院件数	16
II. 気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	
1. 医科入院外	
(1) 有病者数の動向	18
(2) 年齢階層別にみた有病者数（延べ人数）及び構成割合	20
(3) 1人当たり医療費及び医療費3要素	22
(4) 年齢階層別にみた1人当たり医療費	22
2. 医科入院	
(1) 有病者数の動向	24
(2) 年齢階層別にみた有病者構成割合	25
(3) 推計1入院当たり医療費	26
(4) 年齢階層別にみた推計1入院当たり医療費	26
(5) 推計平均在院日数	28
(6) 年齢階層別にみた推計平均在院日数	28
(7) 千人当たり推計新規入院件数	30
(8) 年齢階層別にみた千人当たり推計新規入院件数	30

Ⅲ. 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害

1. 医科入院外	
(1) 有病者数の動向	32
(2) 年齢階層別にみた有病者数（延べ人数）及び構成割合	34
(3) 1人当たり医療費及び医療費3要素	36
(4) 年齢階層別にみた1人当たり医療費	36
2. 医科入院	
(1) 有病者数の動向	38
(2) 年齢階層別にみた有病者構成割合	39
(3) 推計1入院当たり医療費	40
(4) 年齢階層別にみた推計1入院当たり医療費	40
(5) 推計平均在院日数	42
(6) 年齢階層別にみた推計平均在院日数	42
(7) 千人当たり推計新規入院件数	44
(8) 年齢階層別にみた千人当たり推計新規入院件数	44
用語の定義	46
参考	47

I. 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害

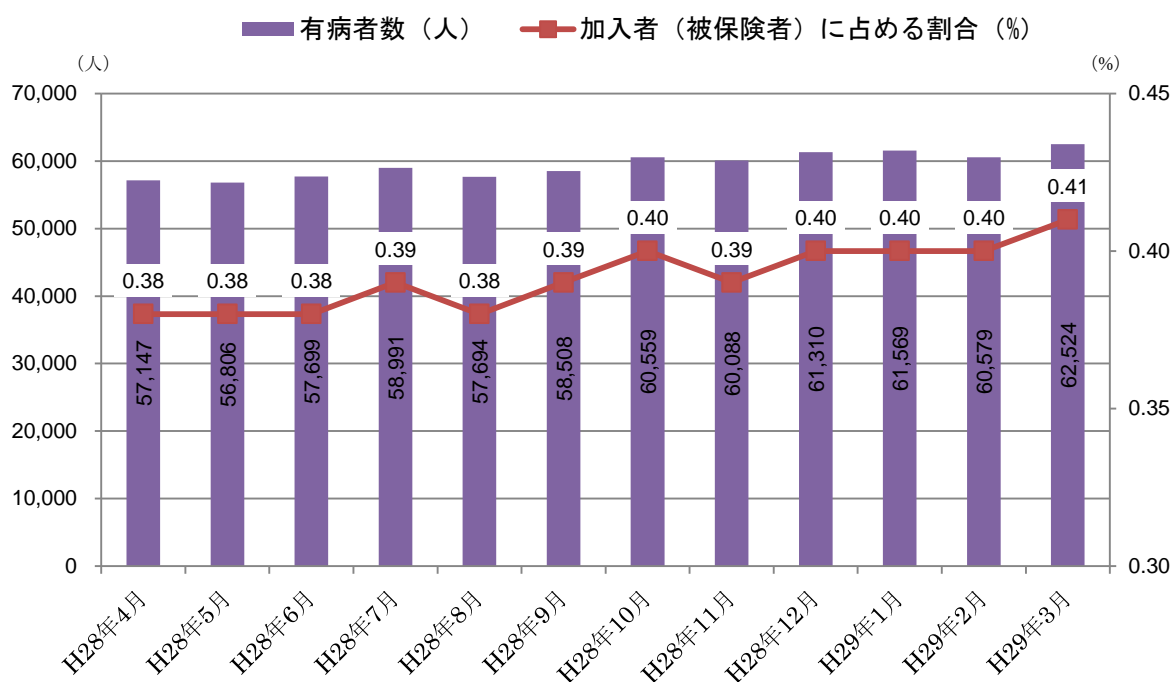
1. 医科入院外

(1) 有病者数¹の動向

- 「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の医科入院外における有病者数の割合は平均 0.39%となっており、男女別にみると男性・女性ともに 0.39%となっている。
- 月別推移をみると、0.38%～0.41%で推移しており、7 月、10 月、12 月、3 月に増加する傾向がみられる。また、男女別 (p.5) にみても同様の傾向がみられる。

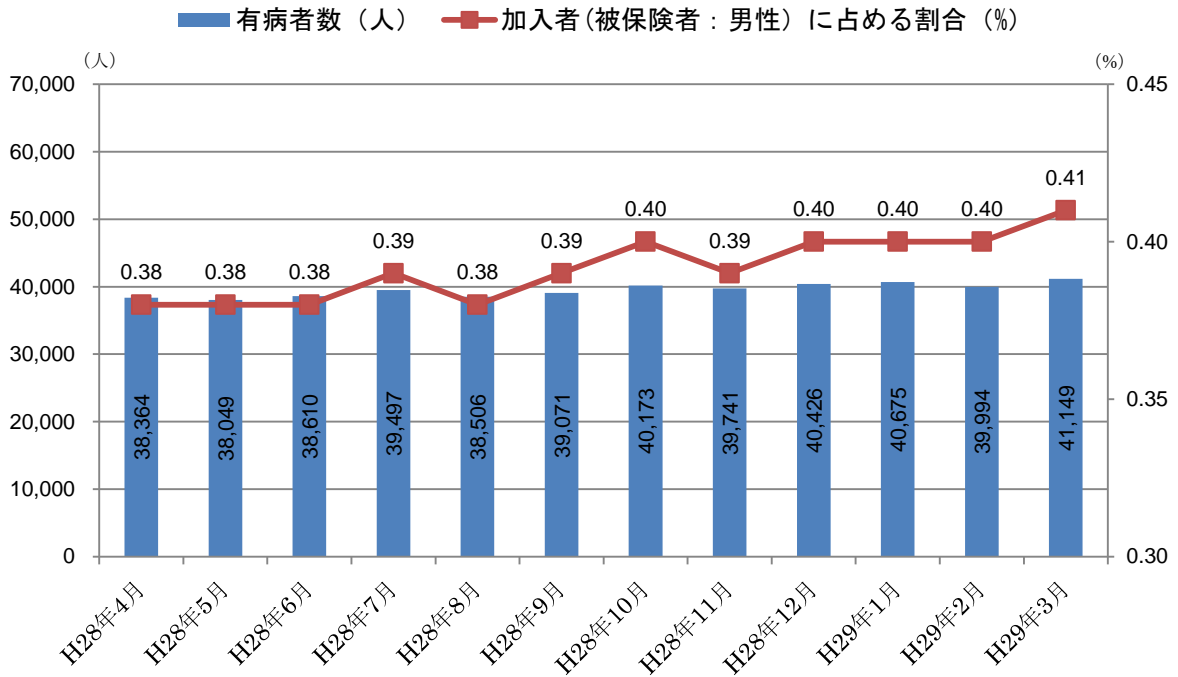
被保険者に占める有病者数の割合(年間平均)	0.39%
男性	0.39%
女性	0.39%

医科入院外：有病者数の月別推移
被保険者【男女計】

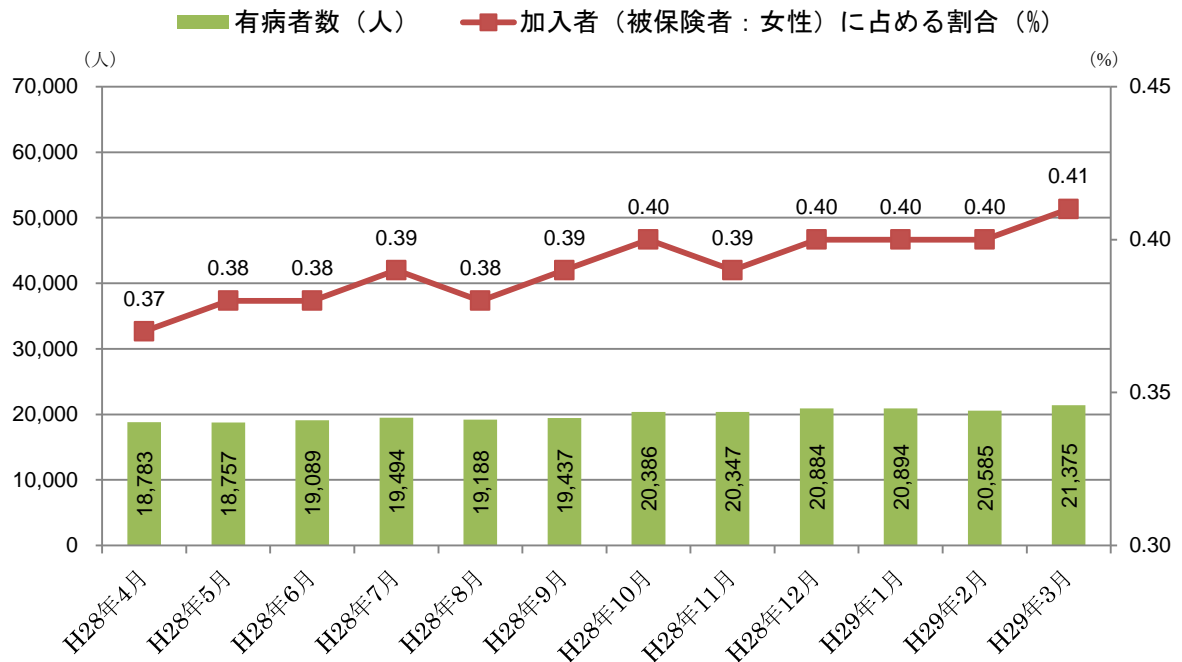


¹ 有病者数は、レセプト上に当該傷病名の記載がある受診者の数である(なお、レセプト上に複数の傷病名の記載がある場合には、それぞれの傷病名ごとに人数をカウントしている。また、1 受診者に複数のレセプトがある場合には、傷病名で名寄せして傷病名ごとに 1 人とカウントしている)。

被保険者【男性】



被保険者【女性】

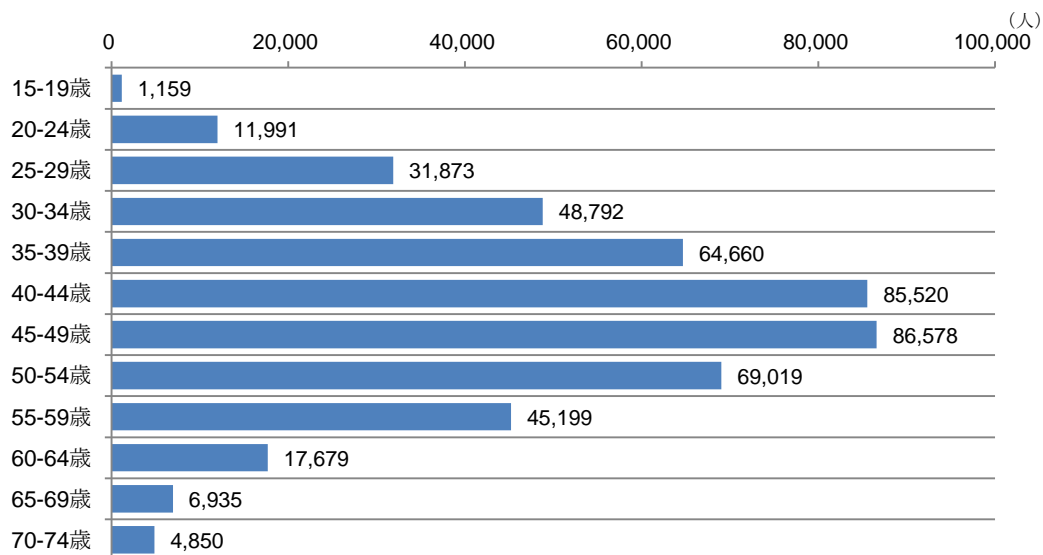


(2) 年齢階層別にみた有病者数（延べ人数）及び構成割合

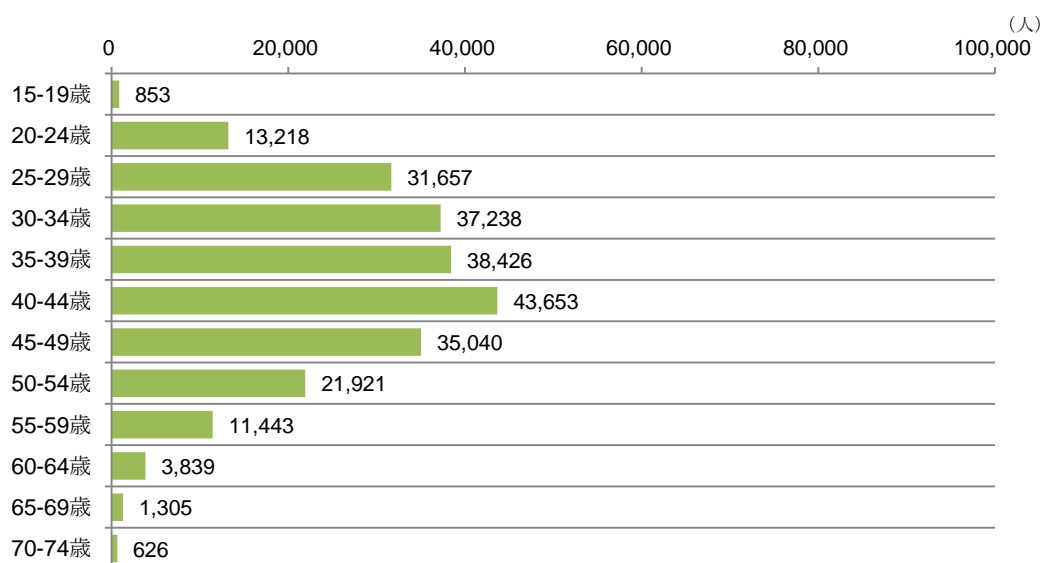
- 年齢階層別に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の医科入院外における有病者数(延べ人数)をみると、男性では、45-49歳が最も多く、次いで40-44歳、50-54歳の順となっており、構成割合をみると(p.7)、40～54歳で全体の約5割を占めている。
- また、女性では、40-44歳が最も多く、次いで、35-39歳、30-34歳となっており、構成割合をみると(p.7)、30～44歳で全体の約5割を占め、男性に比べ、年齢階層が低い傾向が示されている。

医科入院外：有病者数（延べ人数）

被保険者【男性】

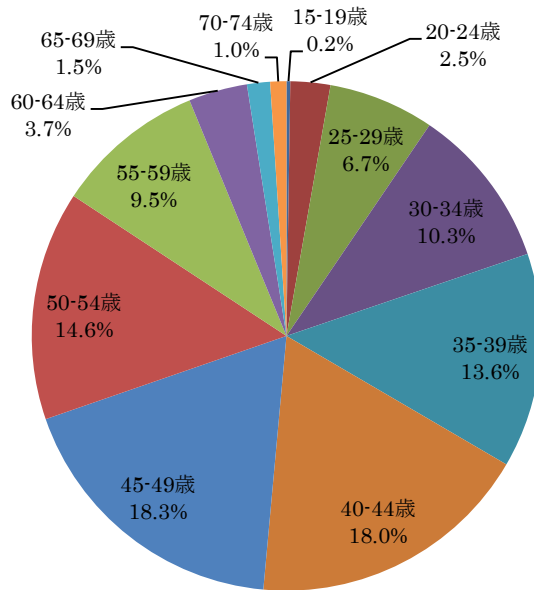


被保険者【女性】

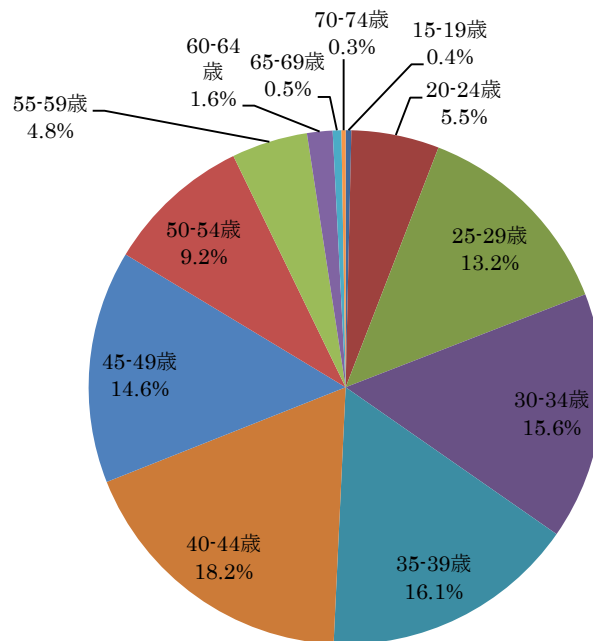


医科入院外：年齢階層別有病者の構成割合

被保険者【男性】



被保険者【女性】



(3) 1人当たり医療費及び医療費3要素

- 「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の医科入院外における1人当たり医療費は、合計:442円、男性:452円、女性:424円となっており、男性のほうがやや高い。
- 男性の1人当たり医療費が高い要因を医療費3要素からみると、女性に比べ、1件当たり日数がやや長く、1日当たり医療費がやや高いことが挙げられる。

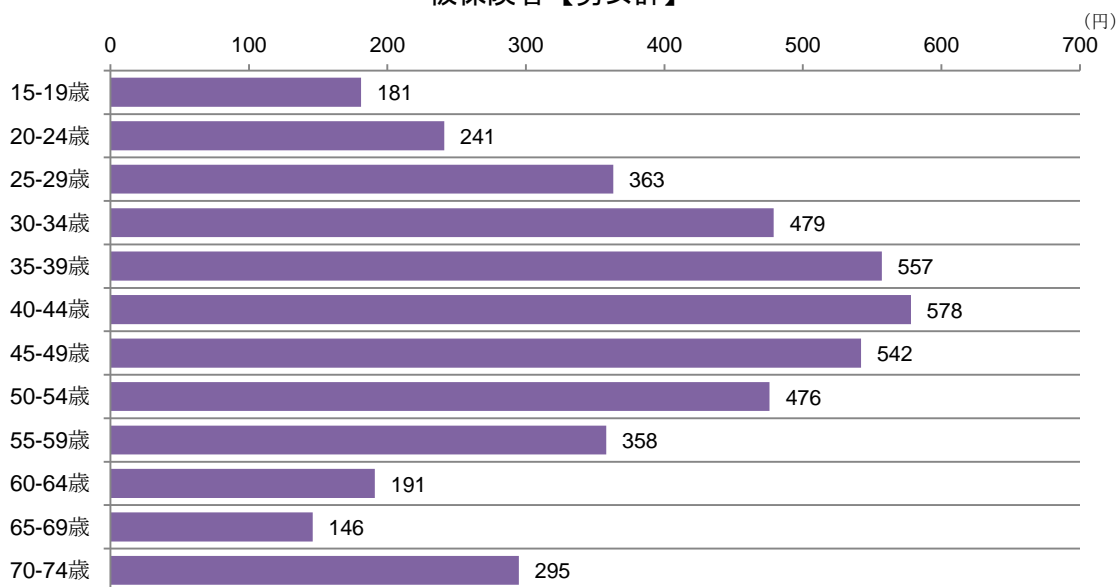
	区分	1人当たり医療費(円)	受診率 ² (千人当たり)	1件当たり日数(日)	1日当たり医療費(円)
被保険者	合計	442	47.4	1.6	5,691
	男性	452	47.4	1.7	5,726
	女性	424	47.4	1.6	5,618

(4) 年齢階層別にみた1人当たり医療費

- 年齢階層別に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の医科入院外の1人当たり医療費をみると、40-44歳:578円が最も高く、次いで、35-39歳:557円、45-49歳:542円となっている。
- 男女別にみると(p.9)、男性では40-44歳、45-49歳、35-39歳の順に高く、女性では、40-44歳、35-39歳、30-34歳の順に高くなっており、男性に比べ、比較的若い年齢で高い傾向が示されている。

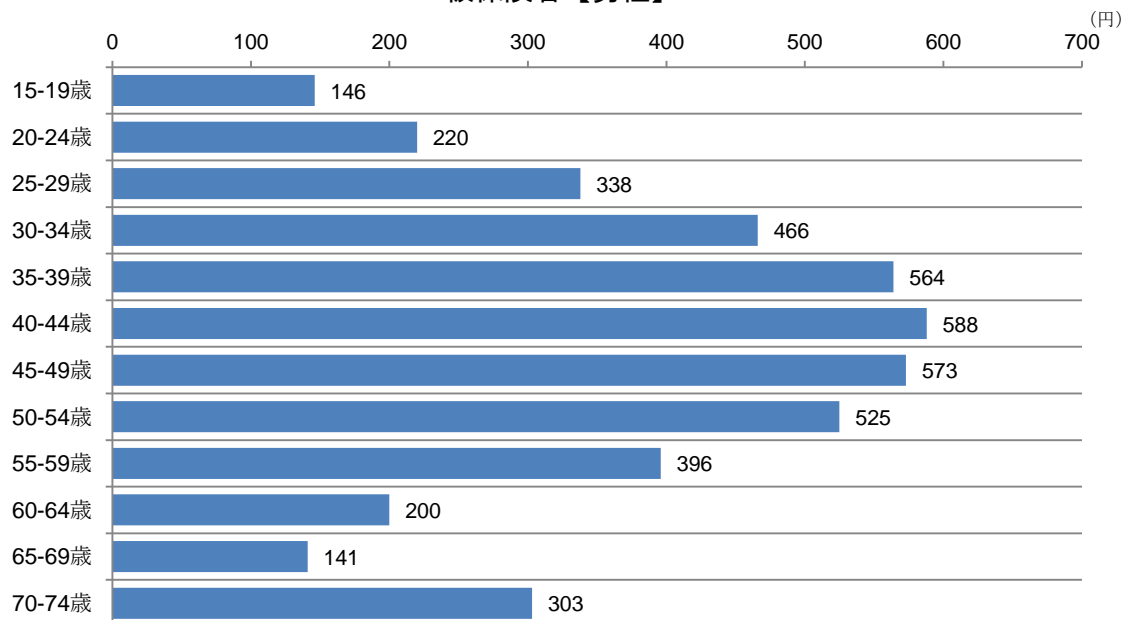
医科入院外：年齢階層別1人当たり医療費

被保険者【男女計】

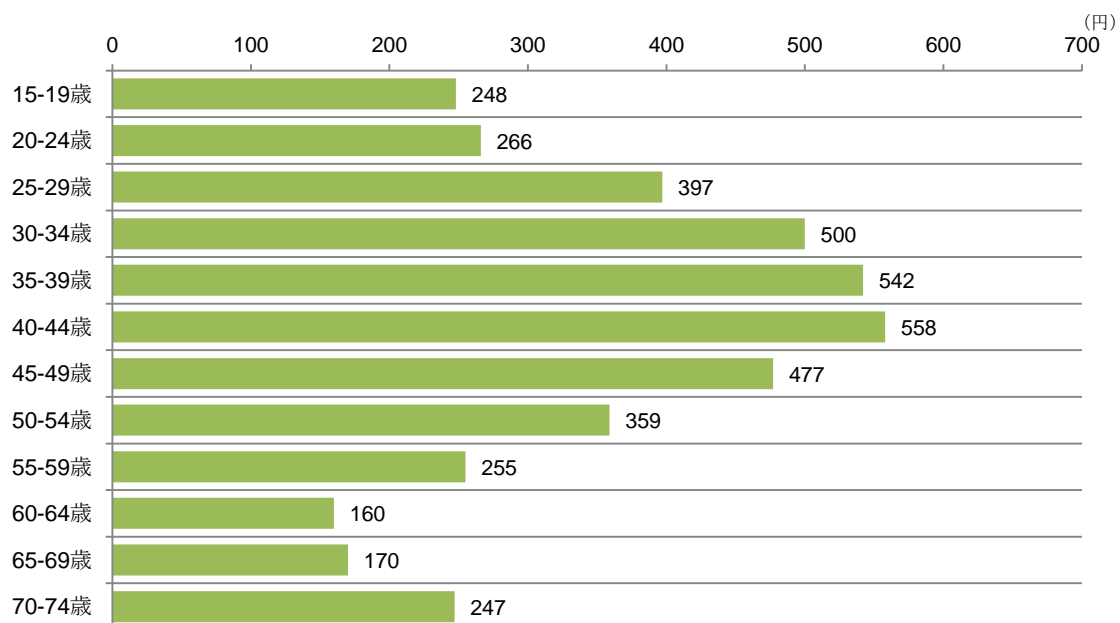


² 当該年度の受診率は、当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数(各月末の加入者数の和を12で除したもの)で除し1,000倍したものである。

被保険者【男性】



被保険者【女性】



2. 医科入院

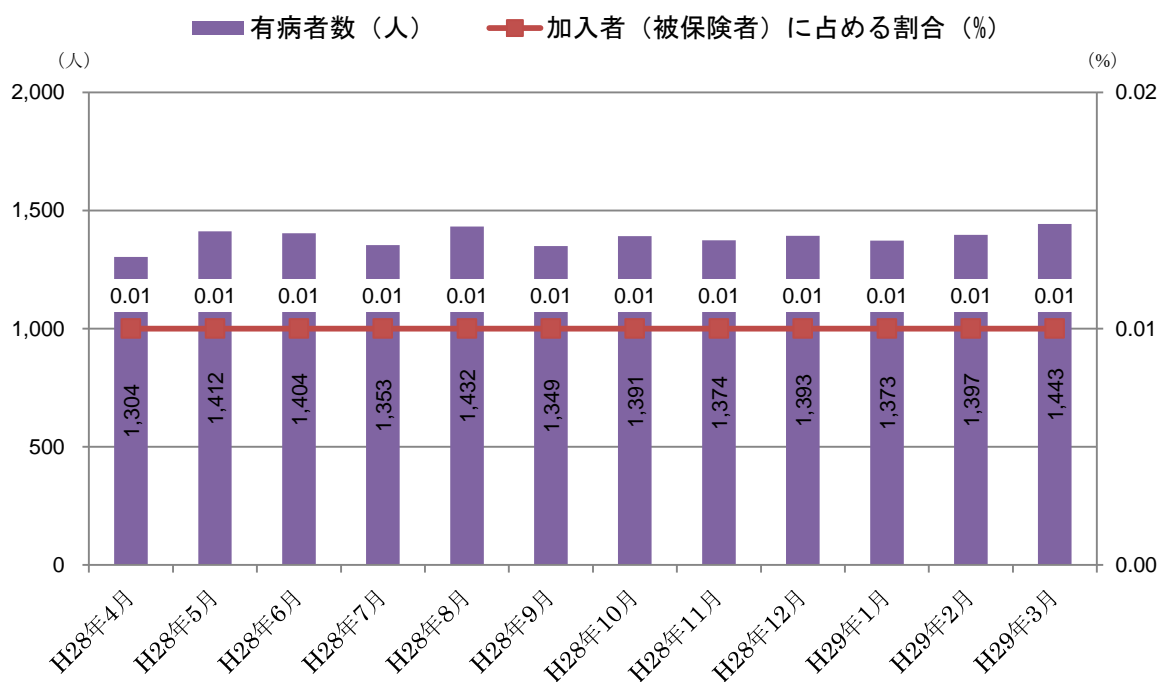
(1) 有病者数の動向

- 「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の医科入院における有病者数の割合は平均 0.01%となっており、男女別にみると、男性・女性ともに 0.01%となっている。
- 月別推移をみると、どの月においても概ね 0.01%で推移している。

被保険者に占める有病者数の割合(年間平均)	0.01%
男性	0.01%
女性	0.01%

医科入院：有病者数の月別推移

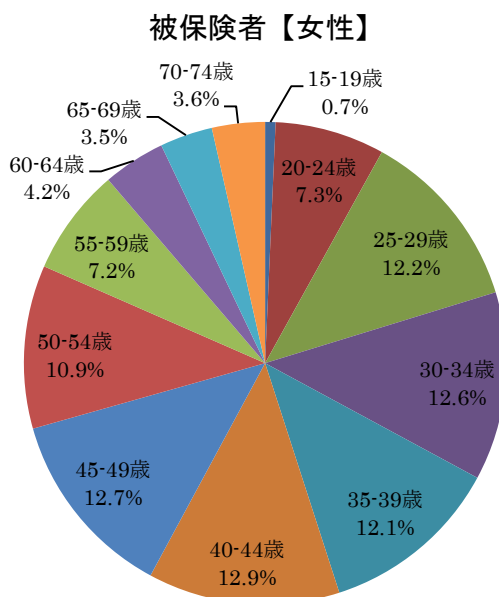
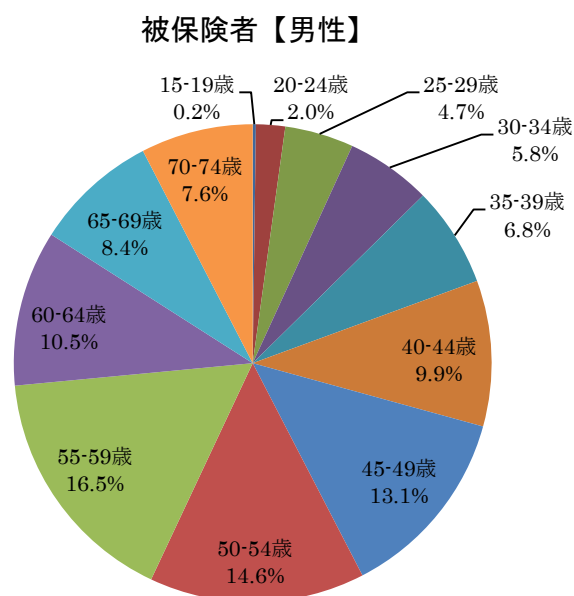
被保険者【男女計】



(2) 年齢階層別にみた有病者構成割合

- 「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の医科入院における有病者の年齢階層別構成割合をみると、男性では、55-59歳：16.5%が最も高く、次いで、50-54歳：14.6%、45-49歳：13.1%となっており、45～59歳で全体の5割近くを占める。
- 女性では、40-44歳：12.9%が最も高く、次いで、45-49歳：12.7%、30-34歳：12.6%となっており、30～49歳で全体の約5割を占め、男性に比べ、年齢階層が低い傾向が示されている。

医科入院：年齢階層別有病者の構成割合



(3) 推計1入院当たり医療費

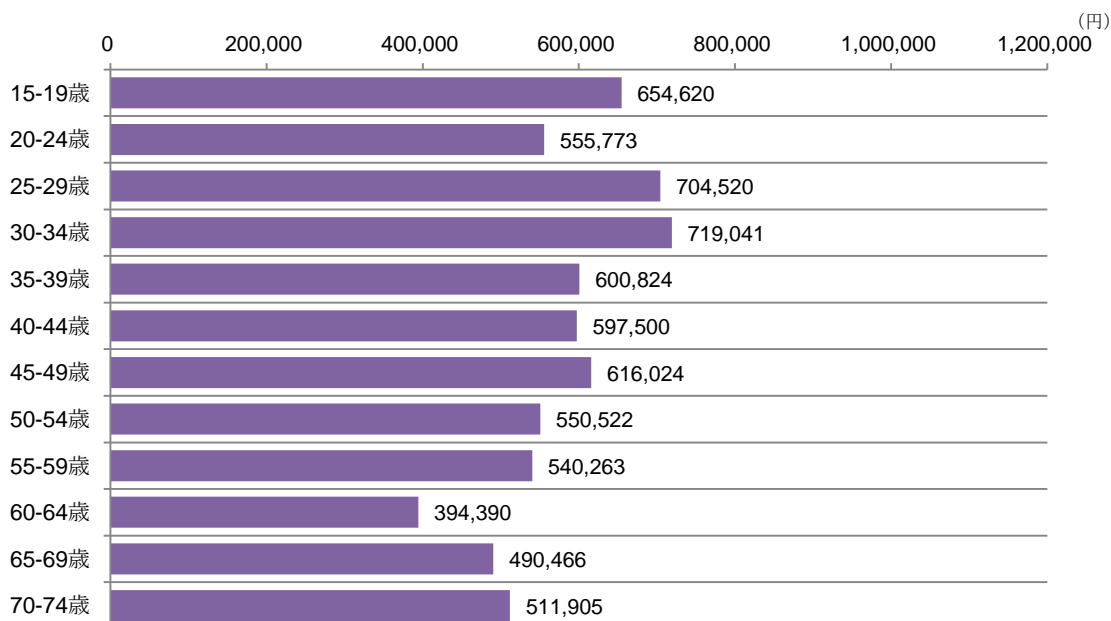
- 「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の推計1入院当たり医療費は、合計:57万7,507円に対し、男性:56万3,612円、女性:61万400円となっており、女性のほうが高くなっている。

	区分	推計1入院当たり医療費(円)
被 保 険 者	合計	577,507
	男性	563,612
	女性	610,400

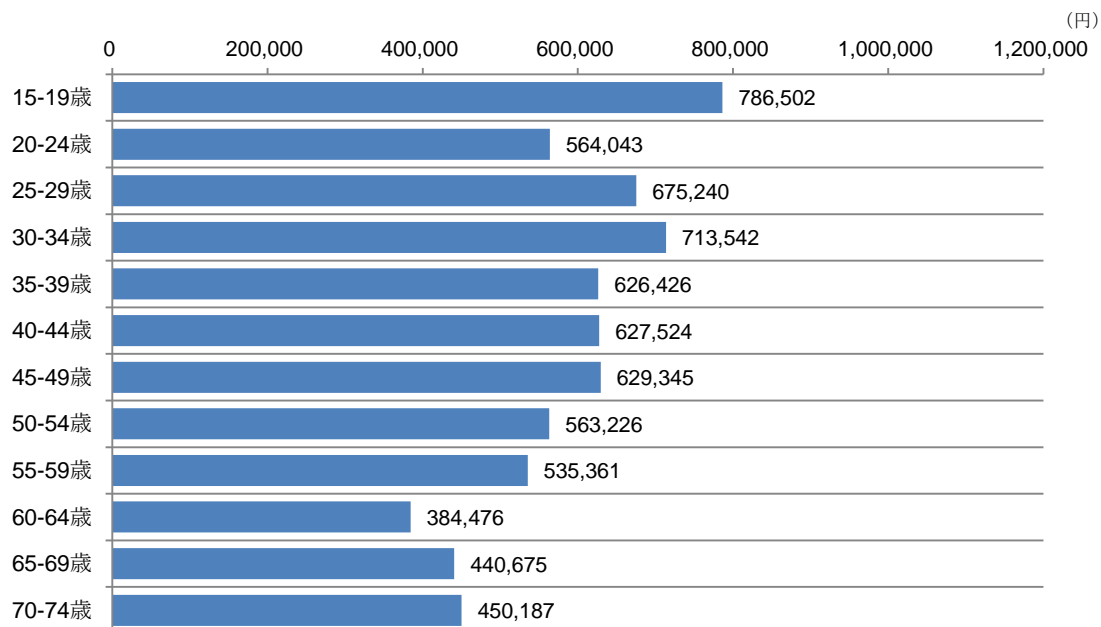
(4) 年齢階層別にみた推計1入院当たり医療費

- 年齢階層別に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の推計1入院当たり医療費をみると、30-34歳:71万9,041円が最も高く、次いで、25-29歳:70万4,520円、15-19歳:65万4,620円となっている。
- 男女別にみると(p.13)、男性では、15-19歳、30-34歳、25-29歳の順に高く、女性では、70-74歳、65-69歳、25-29歳の順に高い。

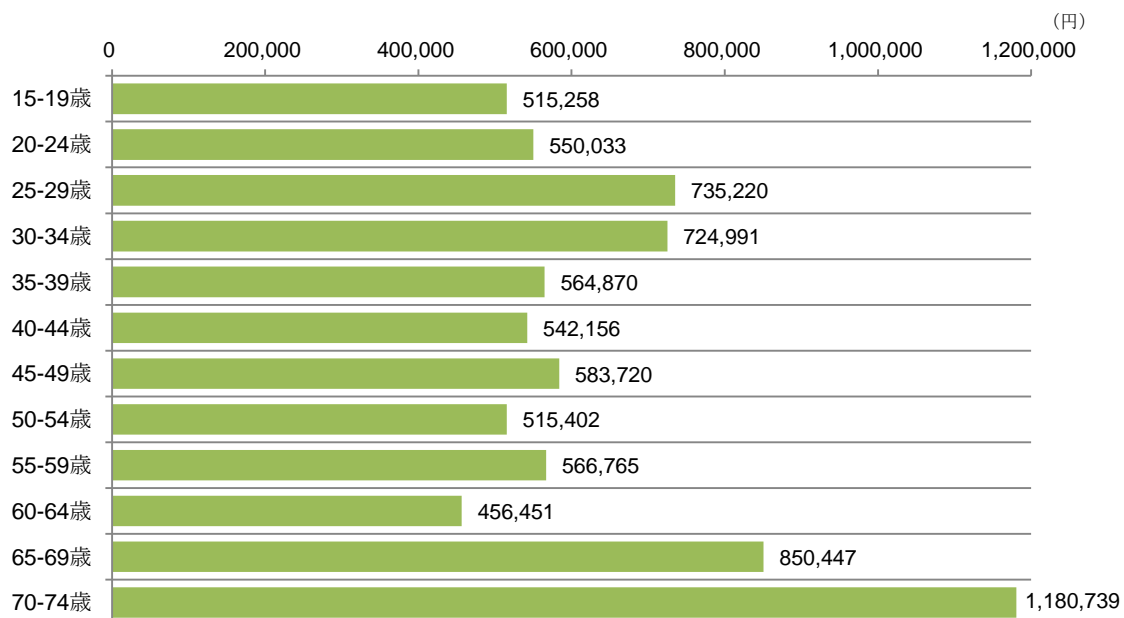
医科入院：推計1入院当たり医療費
被保険者【男女計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



(5) 推計平均在院日数

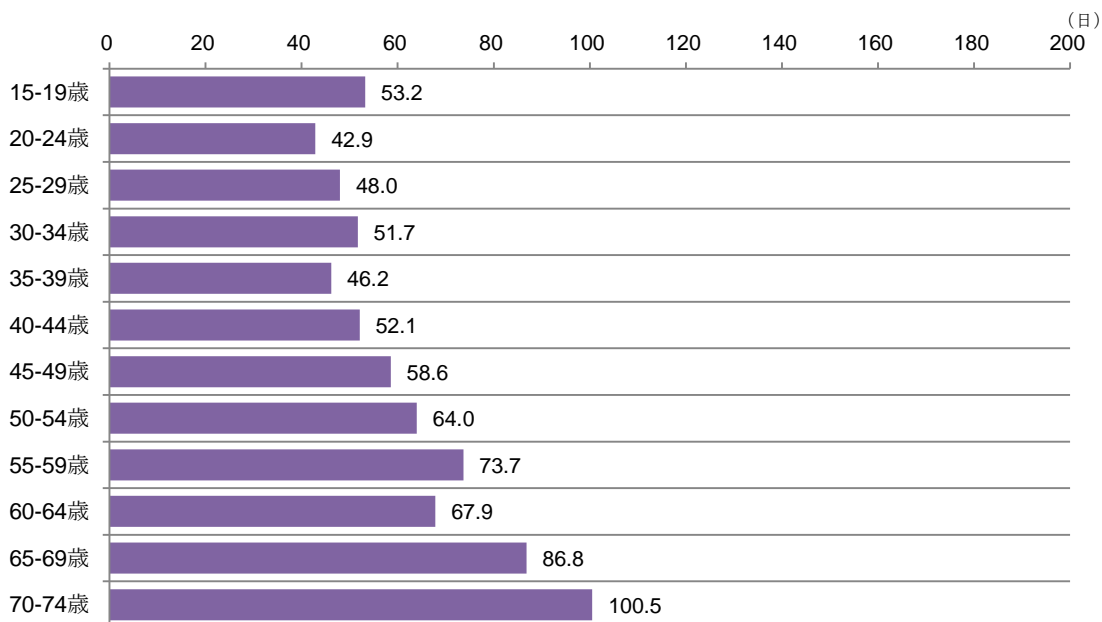
- 「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の推計平均在院日数をみると、合計:61.3 日に対して、男性:65.0 日、女性:52.4 日となっており、女性に比べ男性のほうが長い。

	区分	推計平均在院日数(日)
被 保 険 者	合計	61.3
	男性	65.0
	女性	52.4

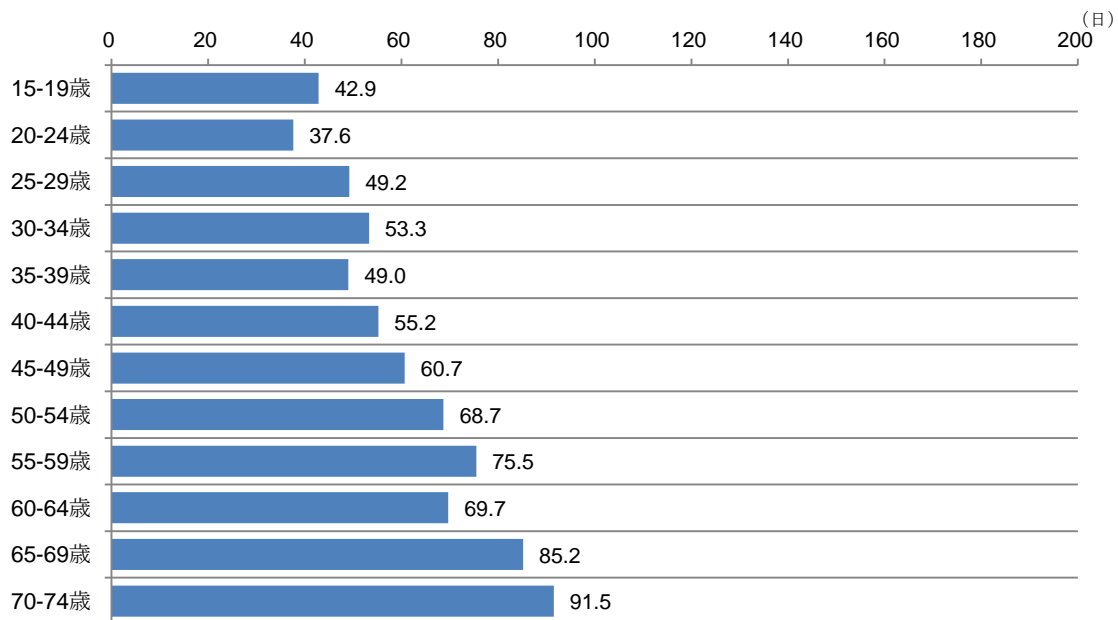
(6) 年齢階層別にみた推計平均在院日数

- 年齢階層別に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の推計平均在院日数をみると、70-74 歳:100.5 日が最も長く、次いで、65-69 歳:86.8 日、55-59 歳 73.7 日となっている。
- 男女別にみると(p.15)、男性では、70-74 歳、65-69 歳、55-59 歳の順に長く、女性では、70-74 歳、65-69 歳、15-19 歳の順に長い。

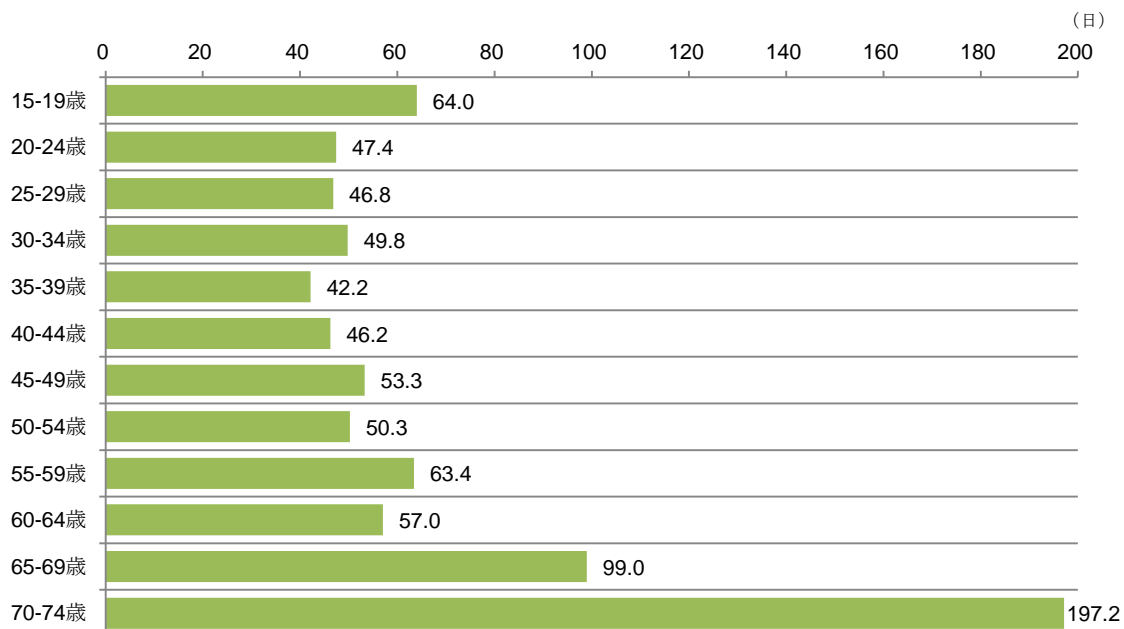
年齢階層別推計平均在院日数
被保険者【男女計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



(7) 千人当たり推計新規入院件数

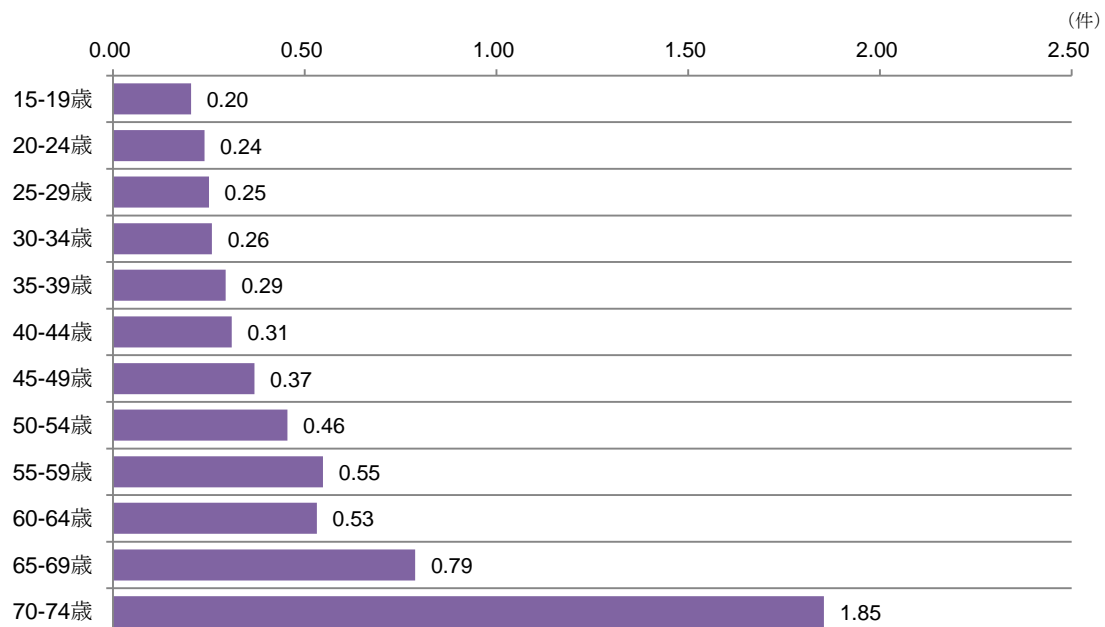
- 「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の千人当たり推計新規入院件数をみると、合計:0.4件に対して、男性:0.4件、女性:0.3件となっており、男性のほうがやや多い。

	区分	千人当たり推計新規入院件数(件)
被 保 険 者	合計	0.37
	男性	0.39
	女性	0.33

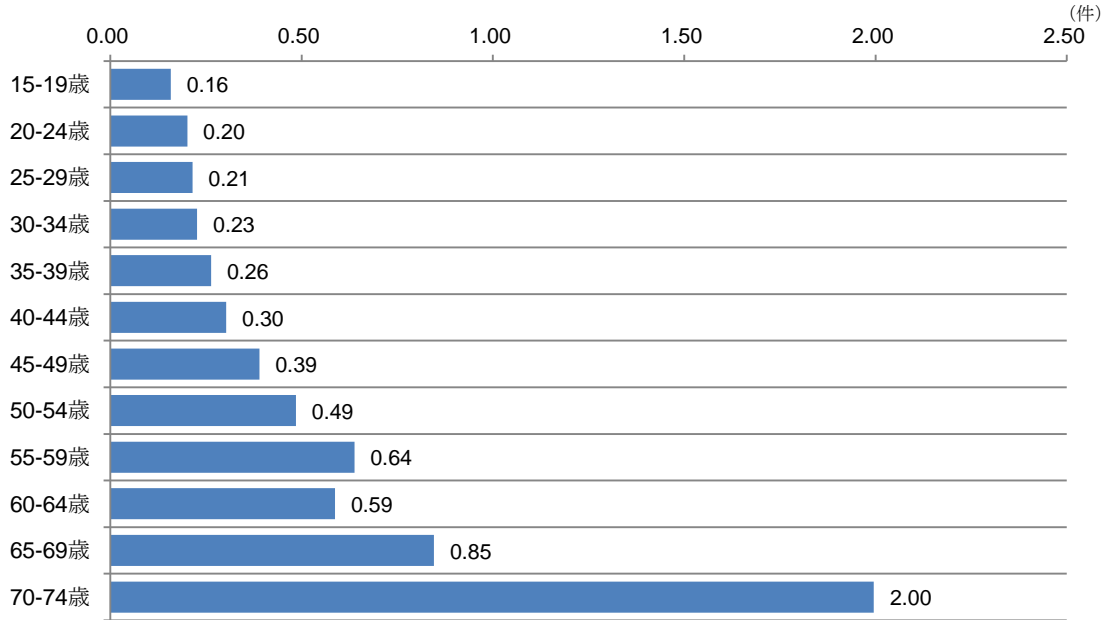
(8) 年齢階層別にみた千人当たり推計新規入院件数

- 年齢階層別に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想型障害」の千人当たり推計新規入院件数をみると、70-74歳:1.85件が最も多く、次いで、65-69歳:0.79件、55-59歳:0.55件となっている。
- 男女別にみると(p.17)、男性では、70-74歳、65-69歳、55-59歳の順に多く、女性では、70-74歳、65-69歳、50-54歳の順に多い。

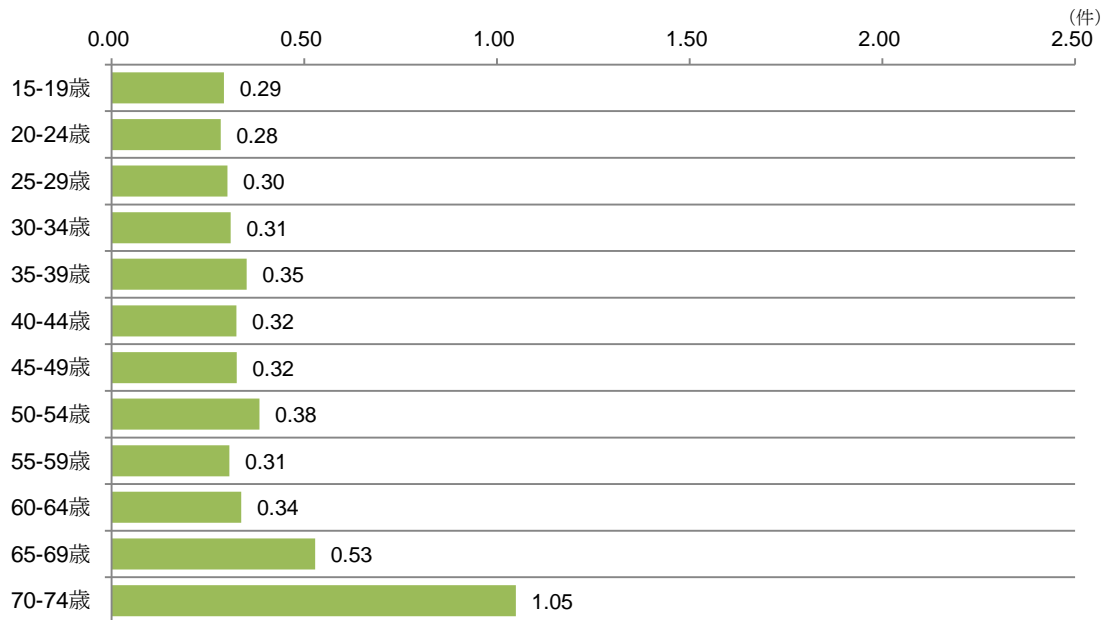
年齢階層別千人当たり推計新規入院件数
被保険者【男女計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



Ⅱ. 気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）

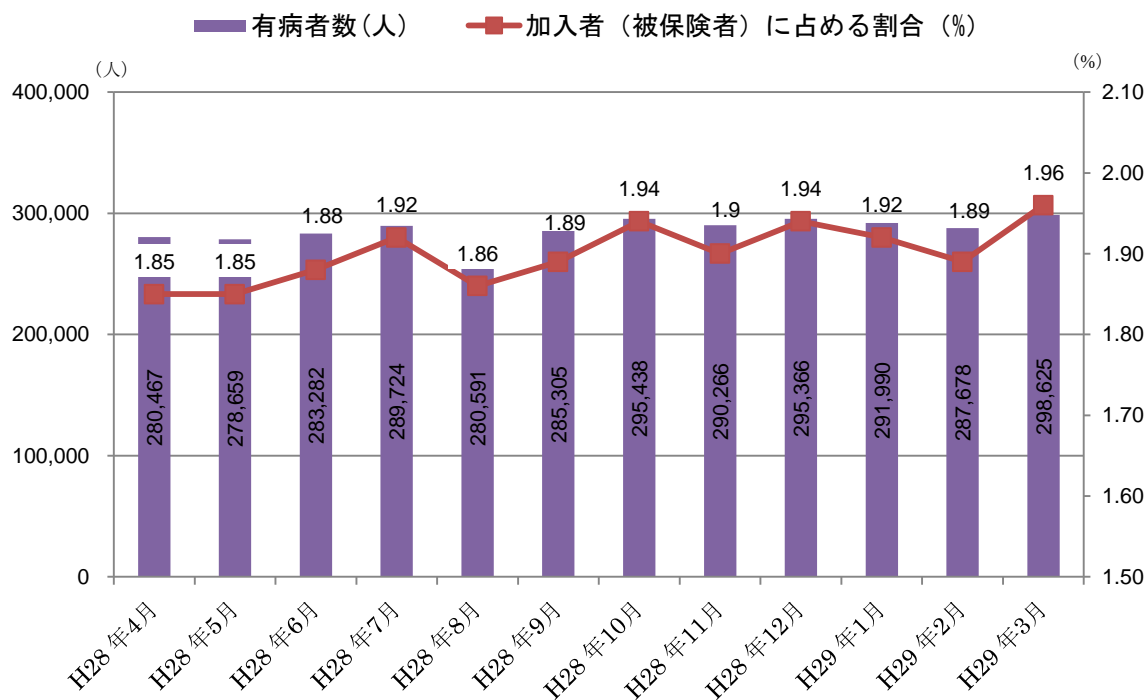
1. 医科入院外

（1）有病者数の動向

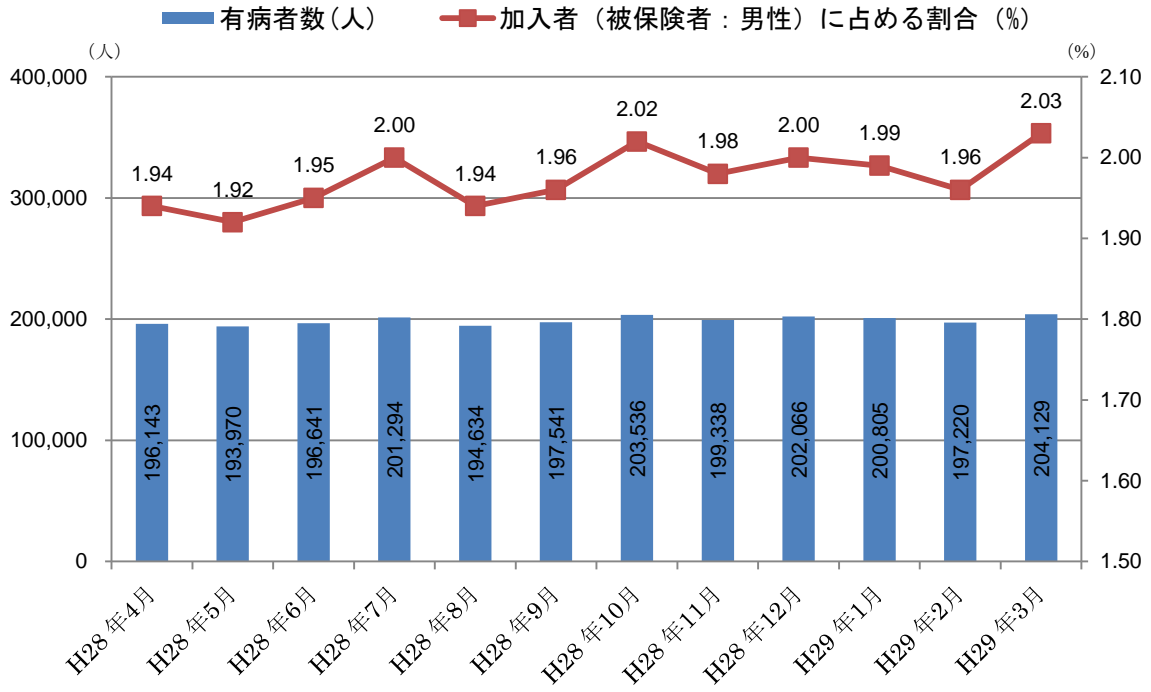
- 「気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）」の医科入院外の有病者の割合は平均 1.90%となっており、男女別にみると、男性:1.97%、女性:1.75%と、男性の割合が高い。
- 月別推移をみると、1.85%～1.96%で推移しており、7月、10月、12月、3月にやや増加する傾向がみられる。また、男女別(p.19)にみても同様の傾向がみられる。

被保険者に占める有病者の割合(年間平均)		1.90%
	男性	1.97%
	女性	1.75%

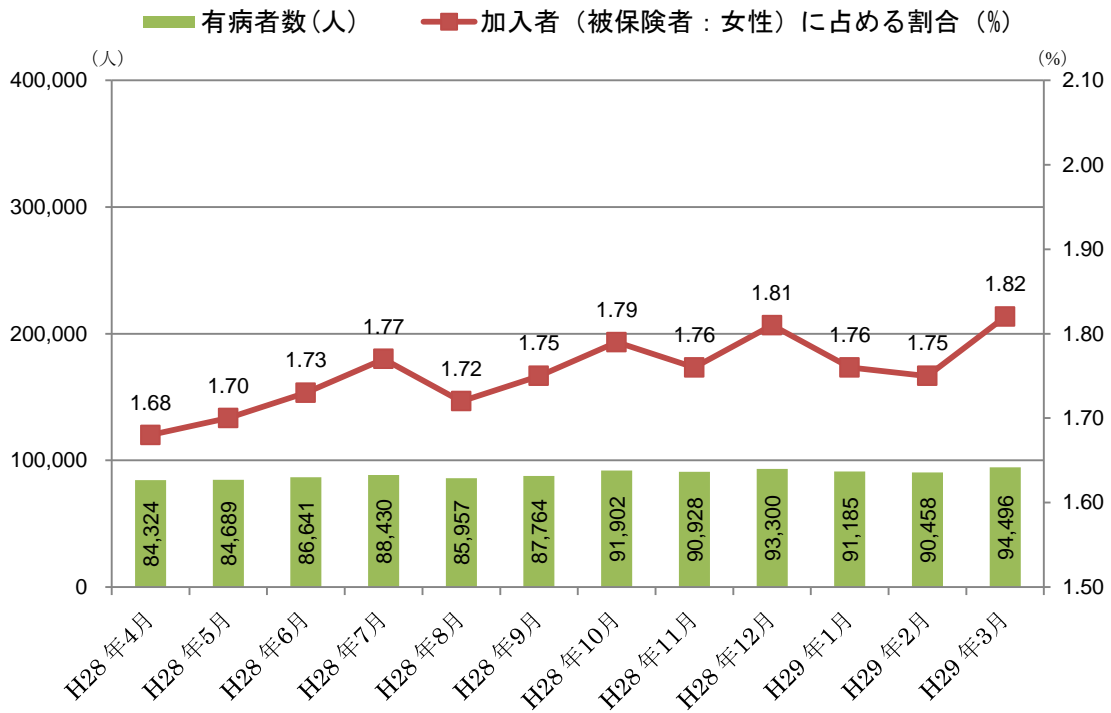
医科入院外：有病者数の月別推移
被保険者【男女計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】

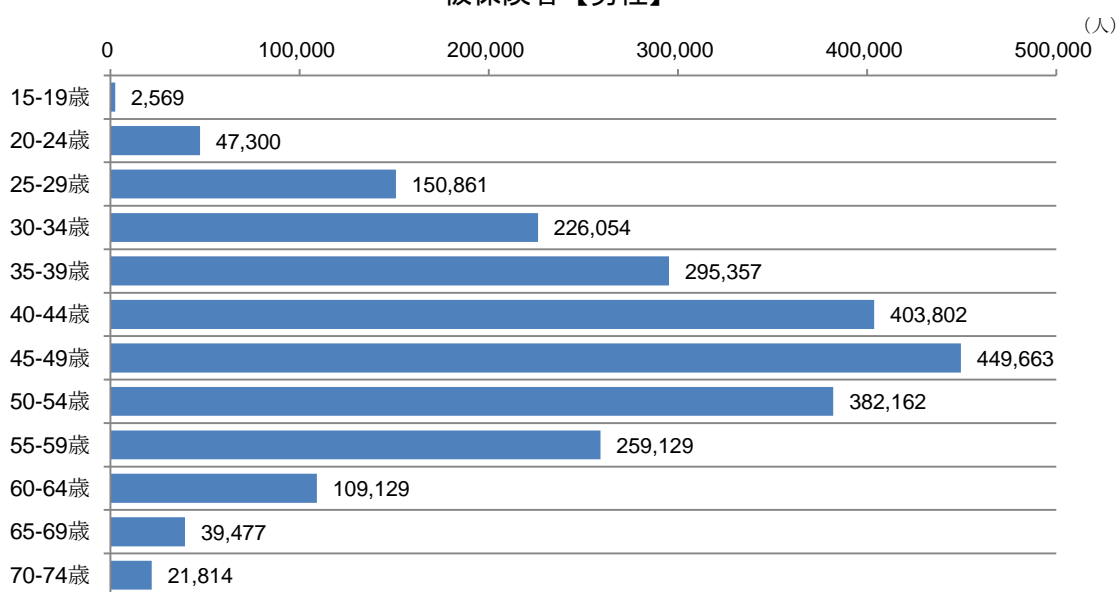


(2) 年齢階層別にみた有病者数(延べ人数)及び構成割合

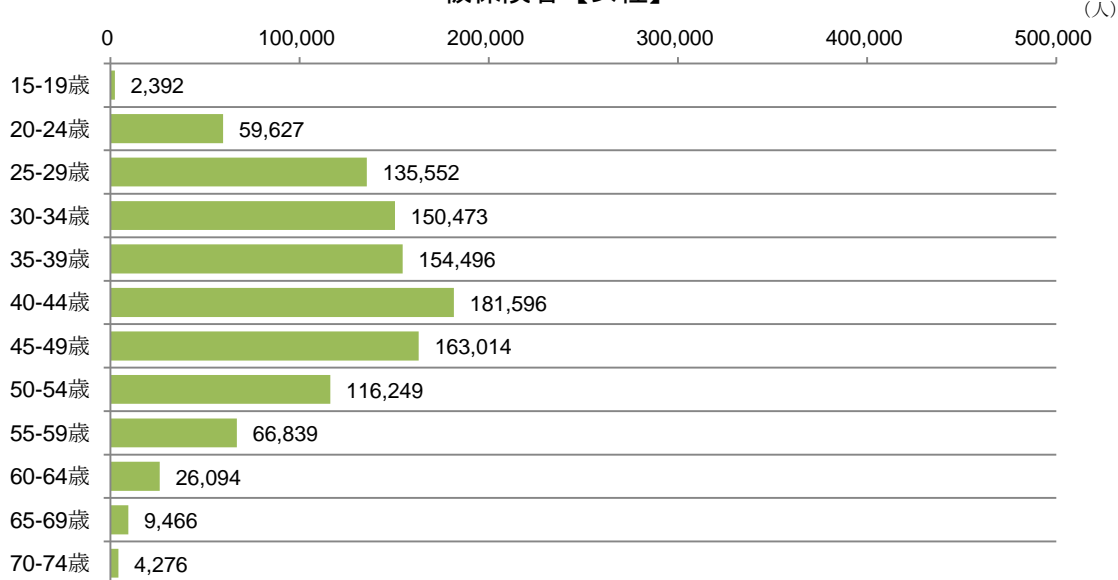
- 年齢階層別に「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の医科入院外における有病者数(延べ人数)をみると、男性では、45-49歳が最も多く、次いで40-44歳、50-54歳の順となっており、構成割合をみると(p.21)、40~54歳で全体の約5割を占めている。
- また、女性では、40-44歳が最も多く、次いで、45-49歳、35-39歳となっており、構成割合をみると(p.21)、35~49歳で全体の約5割を占めている。

医科入院外：有病者数(延べ人数)

被保険者【男性】

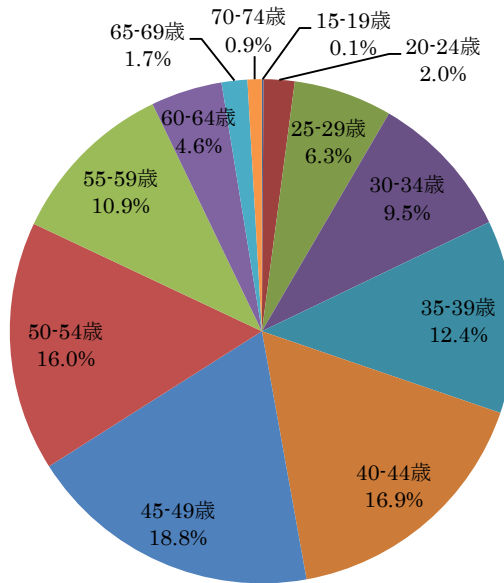


被保険者【女性】

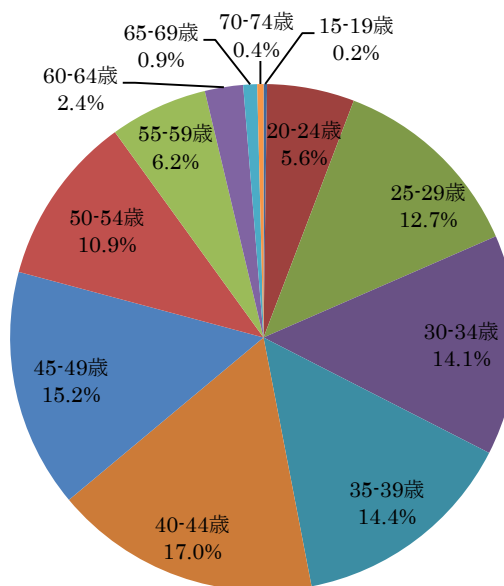


医科入院外：年齢階層別有病者の構成割合

被保険者【男性】



被保険者【女性】



(3) 1人当たり医療費及び医療費3要素

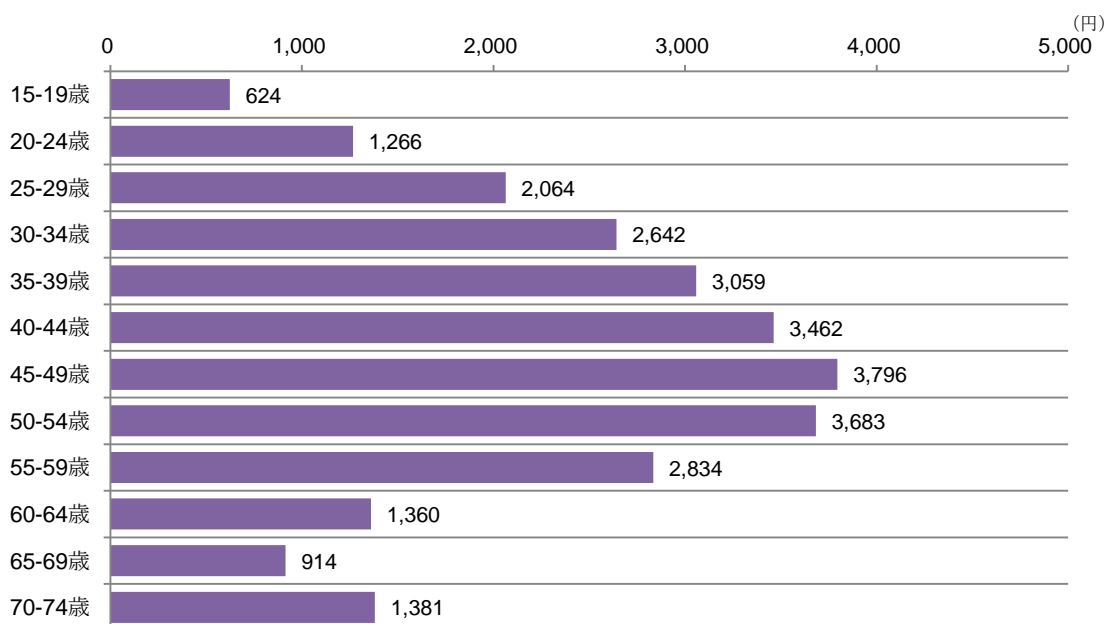
- 「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の医科入院外における1人当たり医療費は、合計：2,791円、男性：3,010円、女性：2,357円となっており、男性のほうが高くなっている。
- 男性の1人当たり医療費が高い要因を医療費3要素からみてみると、女性に比べ、受診率が高い、1日当たり医療費が高いことが挙げられる。

	区分	1人当たり医療費(円)	受診率(千人当たり)	1件当たり日数(日)	1日当たり医療費(円)
被 保 険 者	合計	2,791	232.3	1.6	7,763
	男性	3,010	241.6	1.6	8,007
	女性	2,357	213.8	1.5	7,207

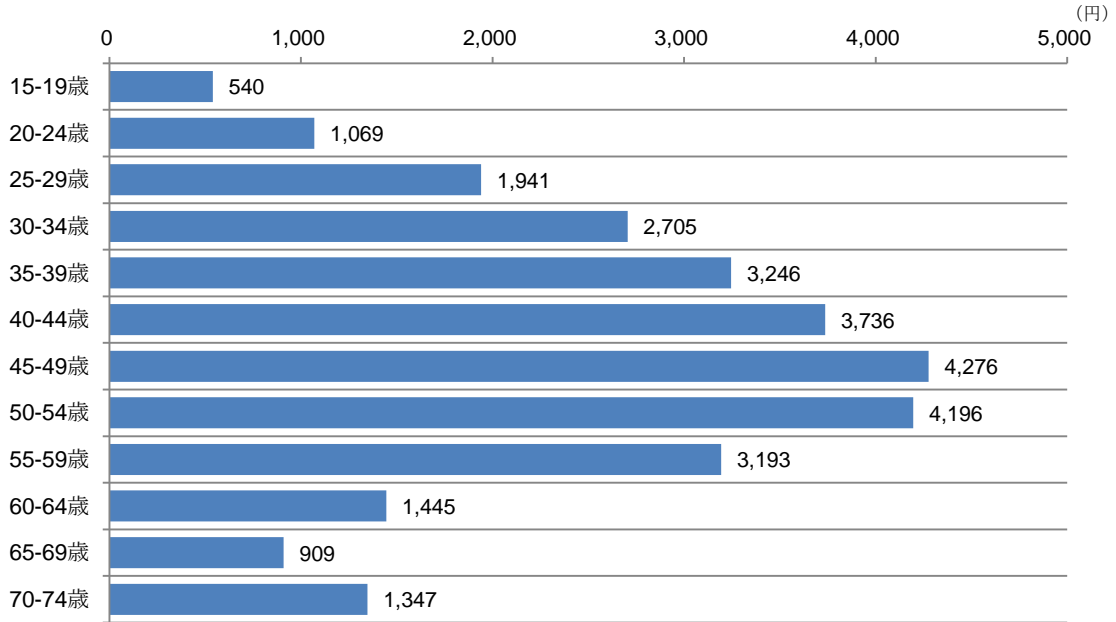
(4) 年齢階層別にみた1人当たり医療費

- 年齢階層別に「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の医科入院外の1人当たり医療費をみると、45-49歳：3,796円が最も高く、次いで、50-54歳：3,683円、40-44歳：3,462円となっている。
- 男女別にみると(p.23)、男性では45-49歳、50-54歳、40-44歳の順に高く、女性では40-44歳、45-49歳、35-39歳の順に高くなっている。

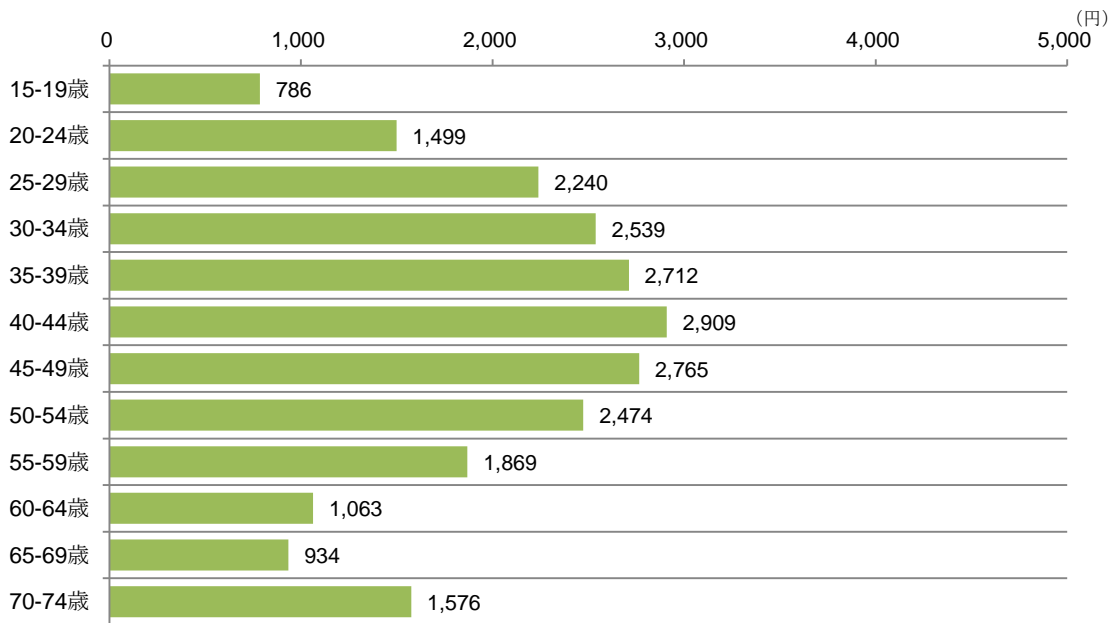
医科入院外：年齢階層別1人当たり医療費
被保険者【男女計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



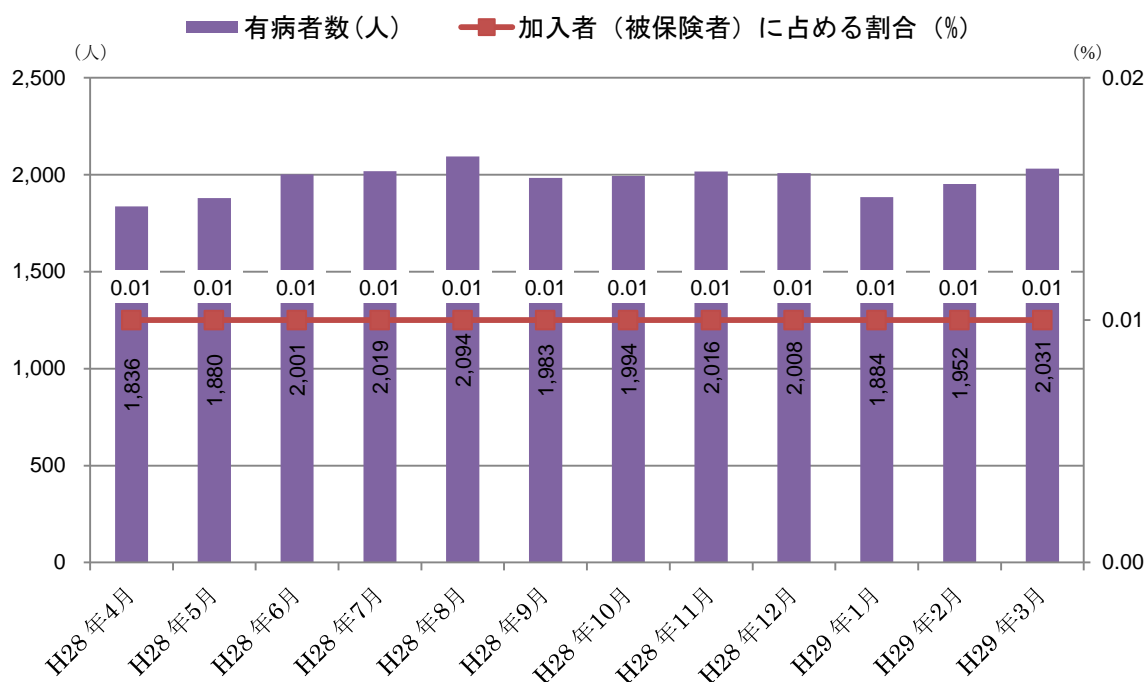
2. 医科入院

(1) 有病者数の動向

- 「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の医科入院における有病者の割合は平均 0.01%となっており、男女別にみると、男性・女性ともに 0.01%となっている。
- 月別推移をみると、どの月においても概ね 0.01%で推移している。

被保険者に占める有病者の割合(年間平均)		0.01%
	男性	0.01%
	女性	0.01%

医科入院：有病者数の月別推移
被保険者【男女計】

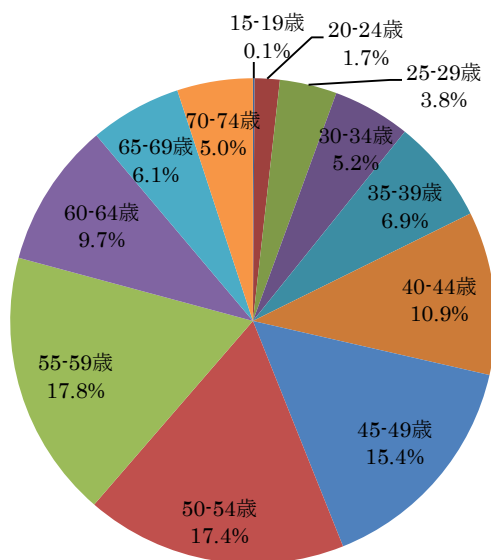


(2) 年齢階層別にみた有病者構成割合

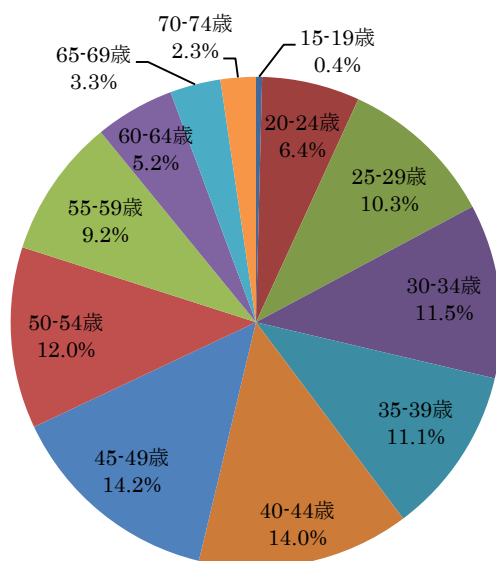
- 「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の医科入院における有病者の年齢階層別構成割合をみると、男性では、55-59歳:17.8%が最も高く、次いで、50-54歳:17.4%、45-49歳:15.4%となっており、45~59歳で全体の約5割を占めている。
- 女性では、45-49歳:14.2%が最も高く、次いで、40-44歳:14.0%、50-54歳:12.0%となっており、40~54歳で全体の約4割を占めている。

医科入院：年齢階層別有病者の構成割合

被保険者【男性】



被保険者【女性】



(3) 推計1入院当たり医療費

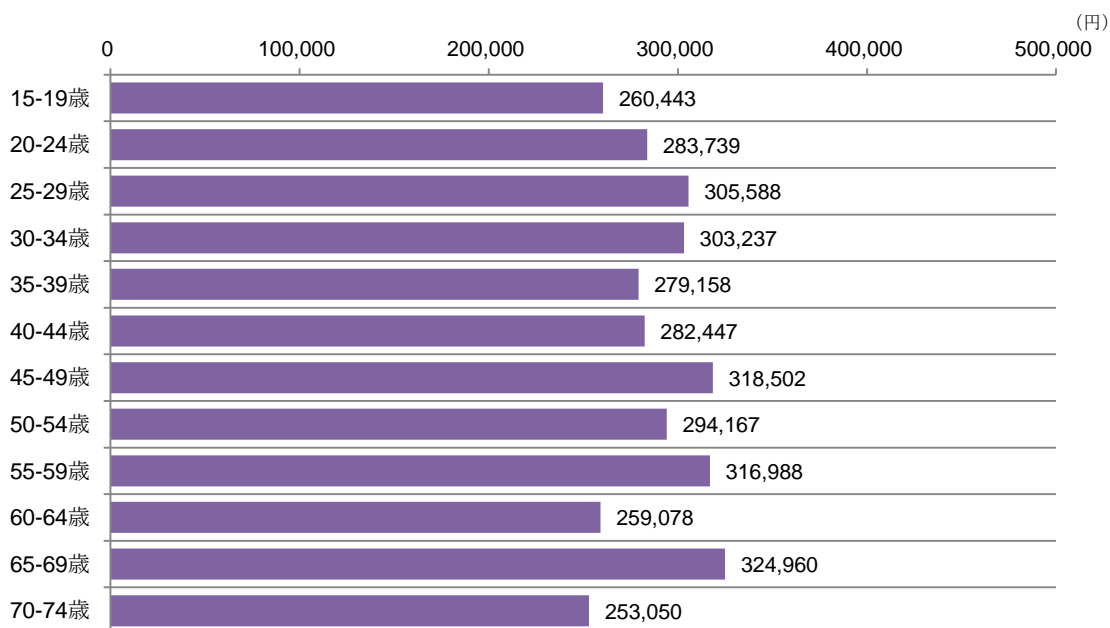
- 「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の推計1入院当たり医療費は、合計:29万6,320円に対し、男性:30万6,380円、女性:26万9,401円となっており、男性のほうが高くなっている。

	区分	推計1入院当たり医療費(円)
被 保 険 者	合計	296,320
	男性	306,380
	女性	269,401

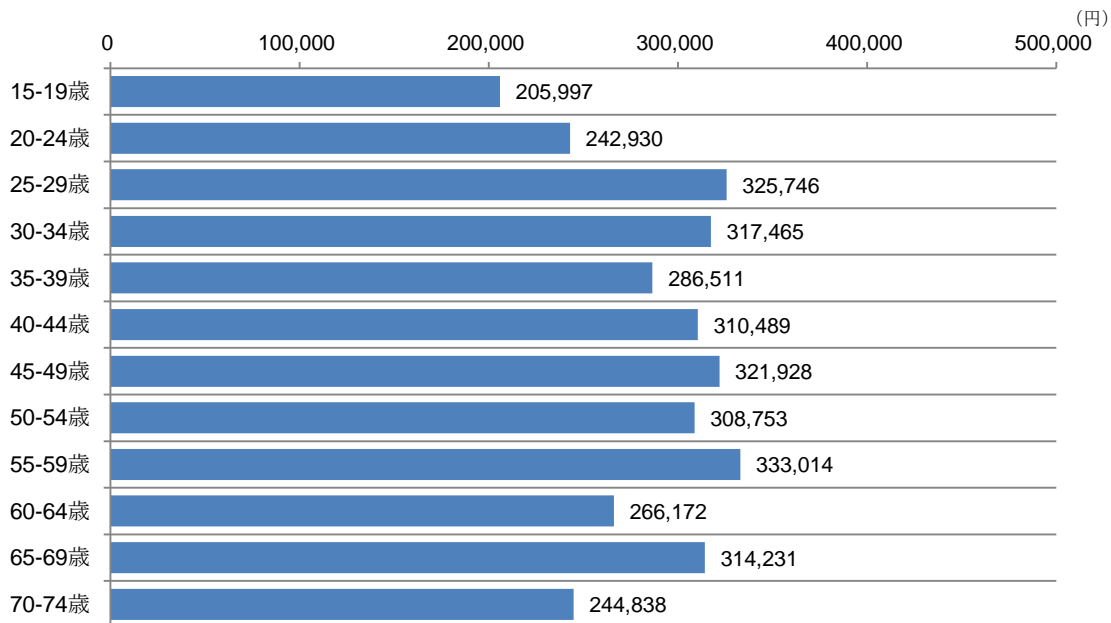
(4) 年齢階層別にみた推計1入院当たり医療費

- 年齢階層別に「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の推計1入院当たり医療費をみると、65-69歳:32万4,960円が最も高く、次いで、45-49歳:31万8,502円、55-59歳:31万6,988円となっている。
- 男女別にみると(p.27)、男性では55-59歳、25-29歳、45-49歳の順に高く、女性では65-69歳、15-19歳、20-24歳の順に高くなっている。

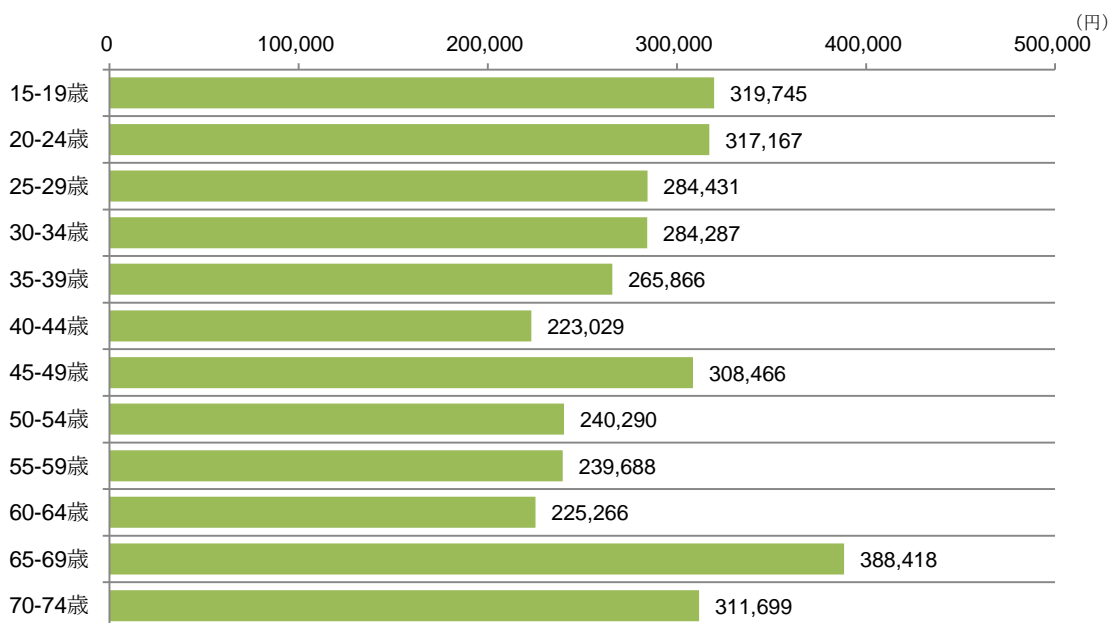
医科入院：推計1入院当たり医療費
被保険者【男女計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



(5) 推計平均在院日数

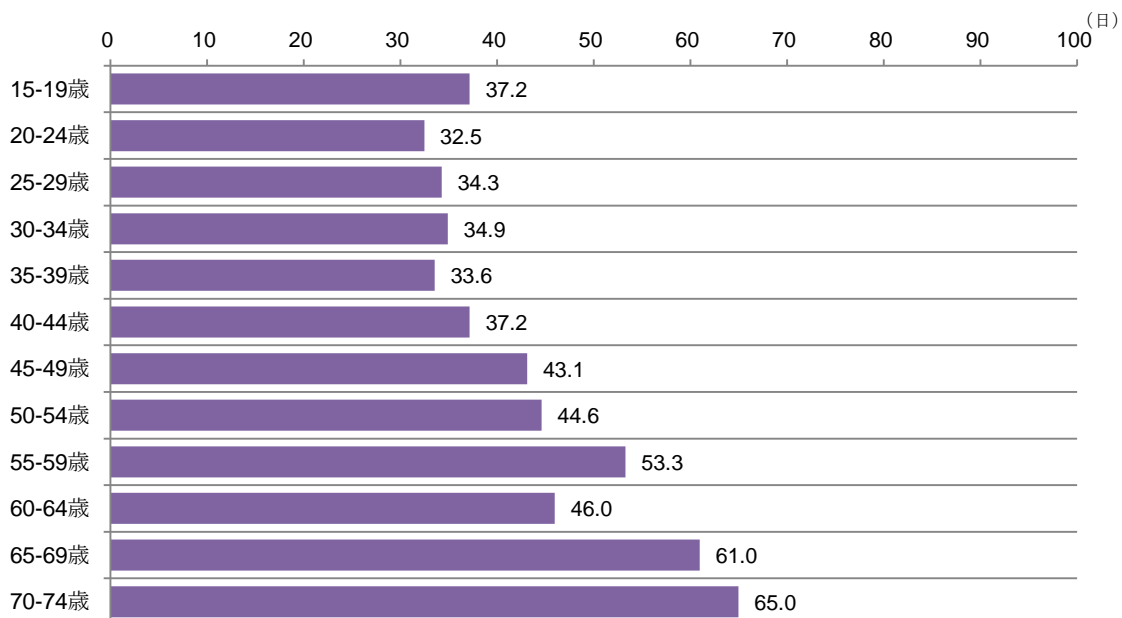
- 「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の推計平均在院日数をみると、合計:43.3日に対して、男性:45.7日、女性:37.2日となっており、男性の方が長い。

	区分	推計平均在院日数(日)
被 保 険 者	合計	43.3
	男性	45.7
	女性	37.2

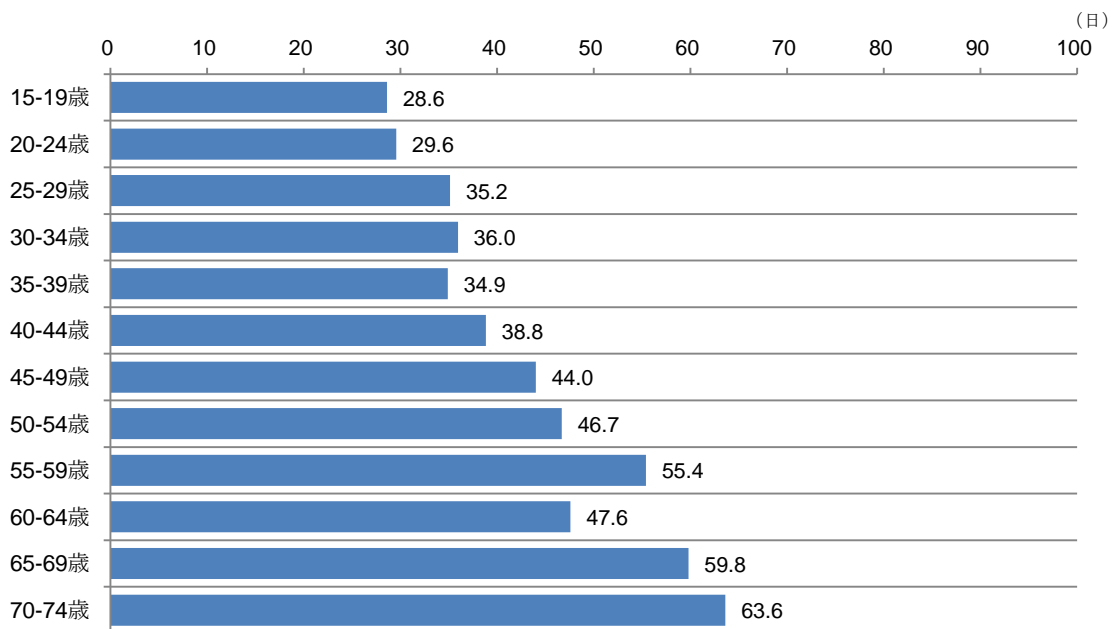
(6) 年齢階層別にみた推計平均在院日数

- 年齢階層別に「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の推計平均在院日数をみると、70-74歳:65.0日が最も長く、次いで、65-69歳:61.0日、55-59歳:53.3日となっている。
- 男女別にみると(p.29)、男性では70-74歳、65-69歳、55-59歳の順に長く、女性では70-74歳、65-69歳、15-19歳の順に長くなっている。

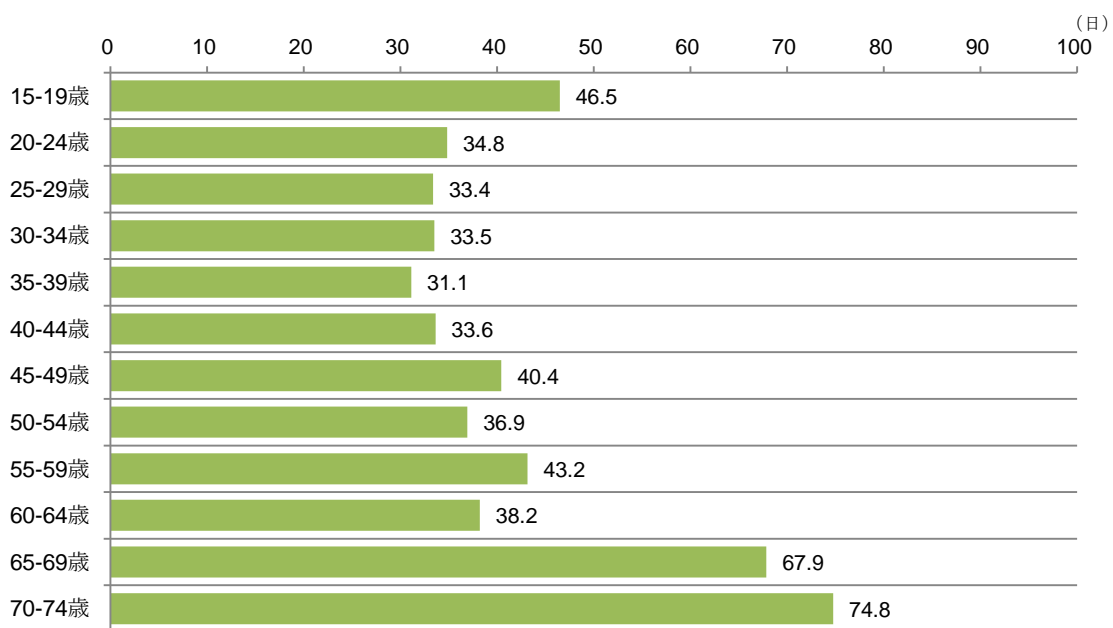
年齢階層別推計平均在院日数
被保険者【男女計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



(7) 千人当たり推計新規入院件数

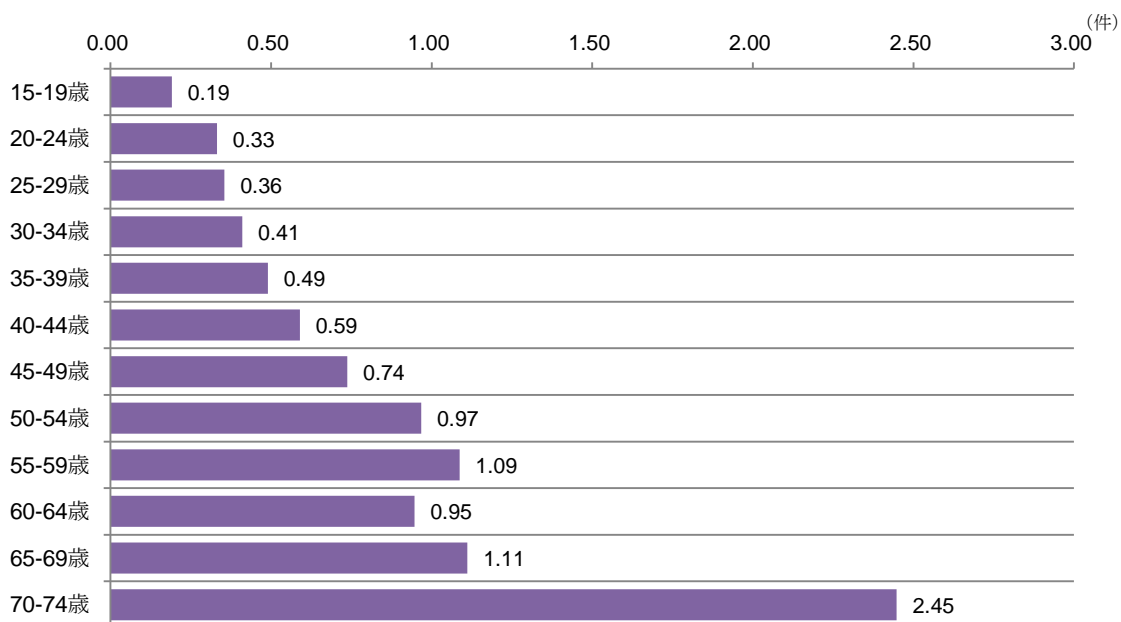
- 「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の千人当たり推計新規入院件数をみると、合計：0.66 件に対して、男性:0.72 件、女性:0.54 件となっており、男性の方がやや多い。

	区分	千人当たり推計新規入院件数(件)
被 保 険 者	合計	0.66
	男性	0.72
	女性	0.54

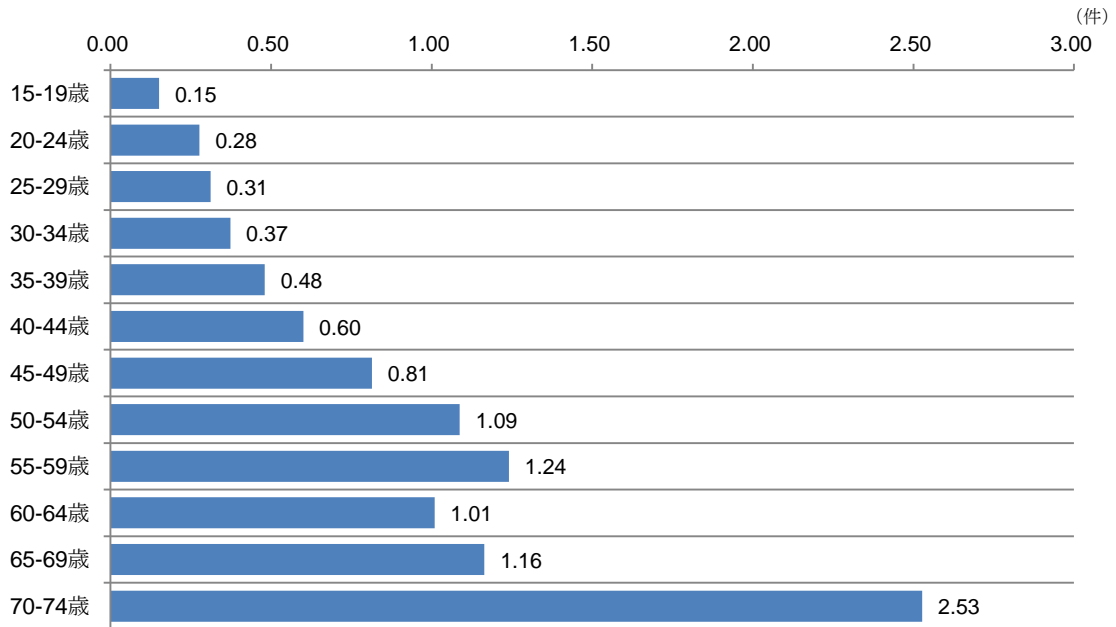
(8) 年齢階層別にみた千人当たり推計新規入院件数

- 年齢階層別に「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」の千人当たり推計新規入院件数をみると、70-74 歳:2.45 件が最も多く、次いで、65-69 歳:1.11 件、55-59 歳:1.09 件となっている。
- 男女別にみると(p.31)、男性では 70-74 歳、55-59 歳、65-69 歳の順に多く、女性では 70-74 歳、65-69 歳、60-64 歳の順に多くなっている。

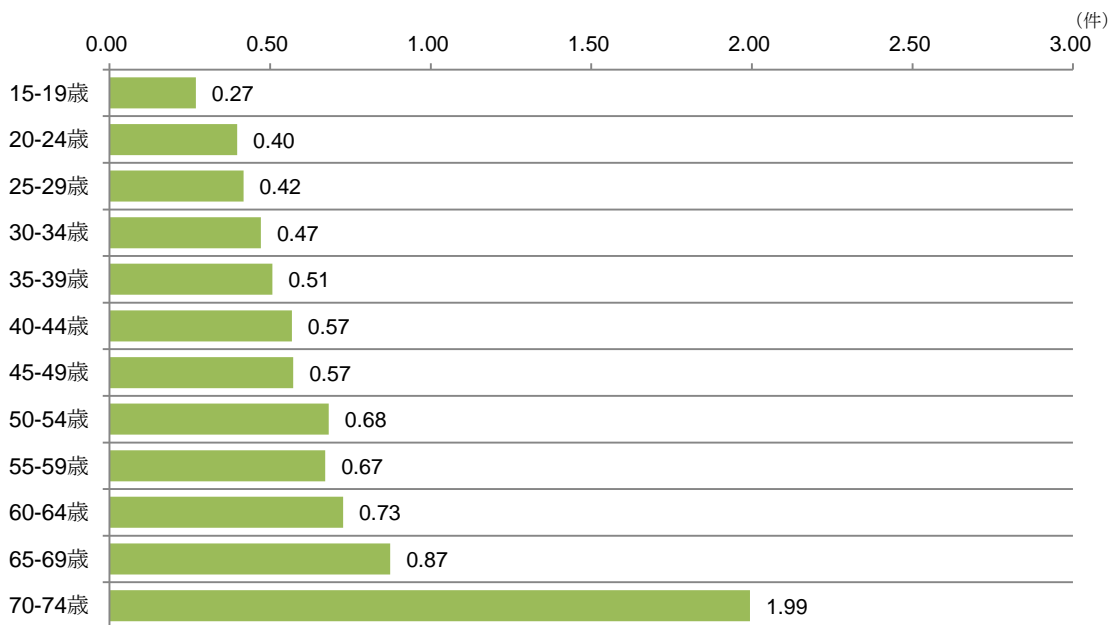
年齢階層別千人当たり推計新規入院件数
被保険者【男女計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



Ⅲ. 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害

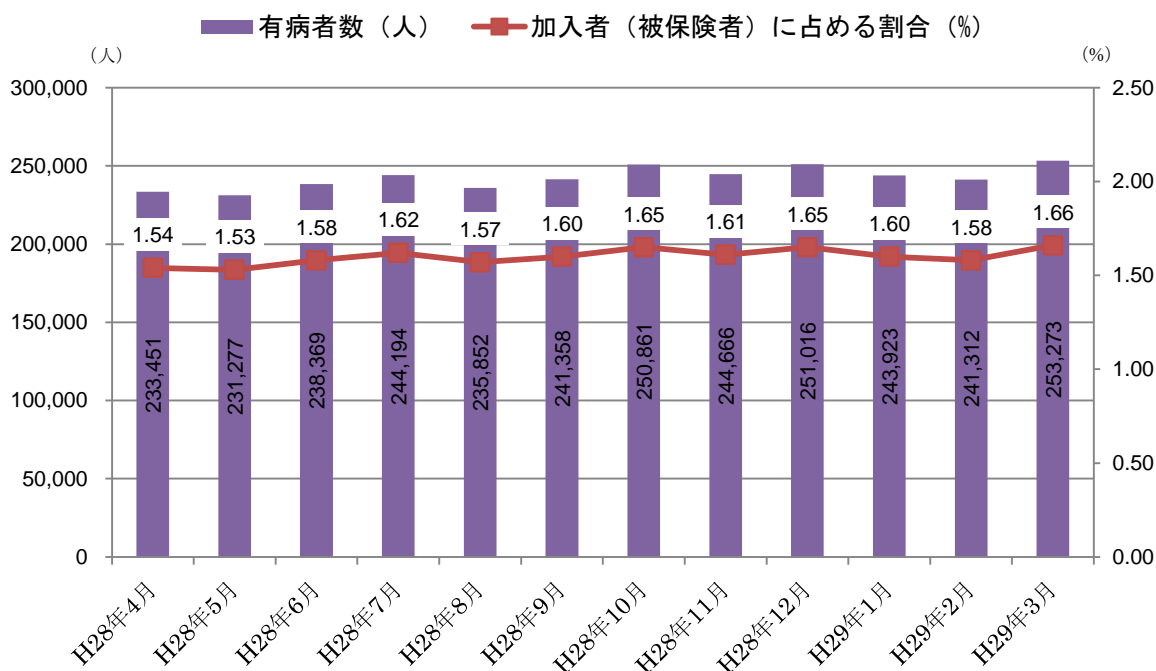
1. 医科入院外

(1) 有病者数の動向

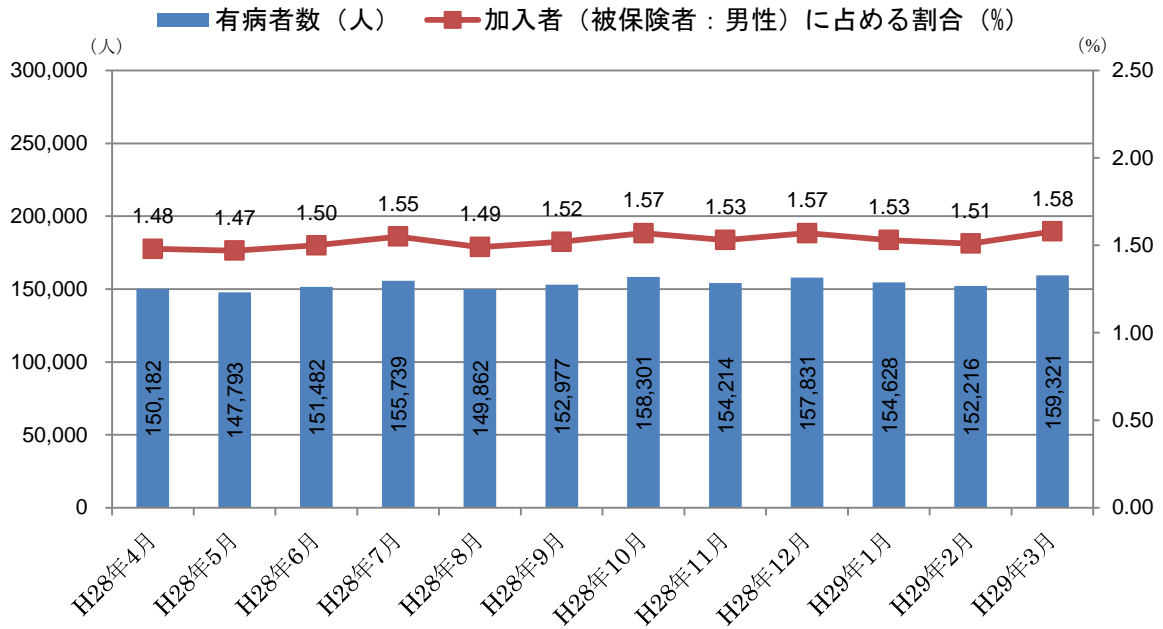
- 「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の医科入院外における有病者の割合は平均 1.60%となっており、男女別にみると、男性:1.53%、女性:1.74%と、女性の割合が高い。
- 月別の推移をみると、1.53%～1.66%で推移しており、7月、10月、12月、3月に増加する傾向がみられる。
- 男女別にみると(p.33)、男性・女性ともに7月、10月、12月、3月に増加する傾向がみられる。

被保険者に占める有病者数の割合(年間平均)	1.60%
男性	1.53%
女性	1.74%

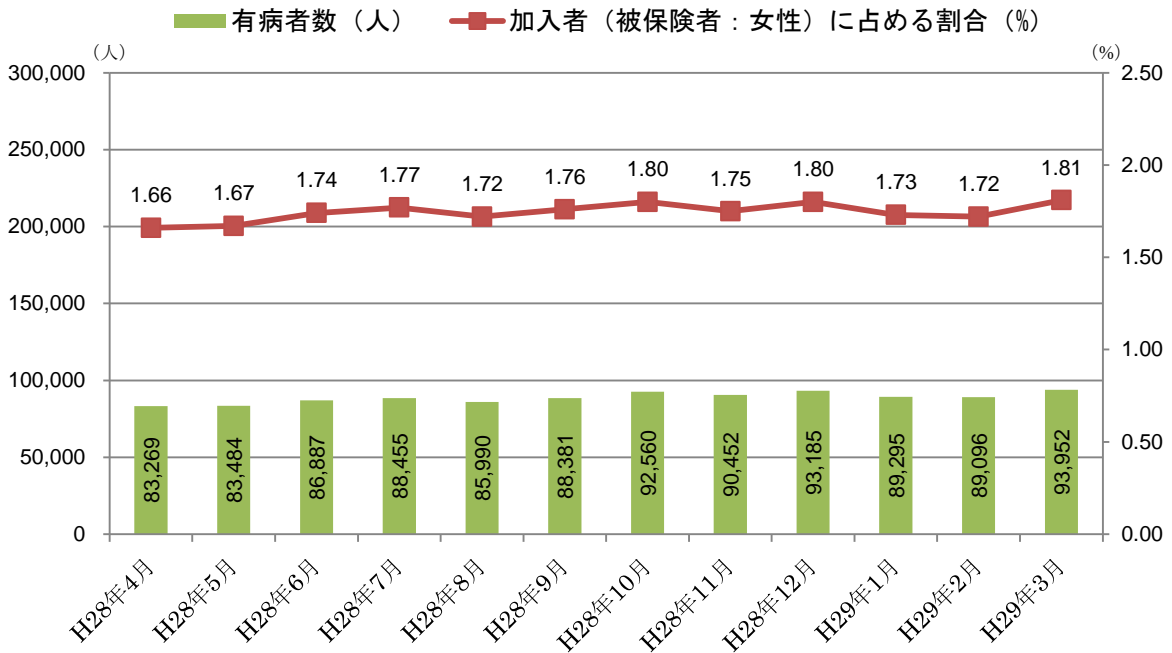
医科入院外：有病者数の月次推移
被保険者【男女計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】

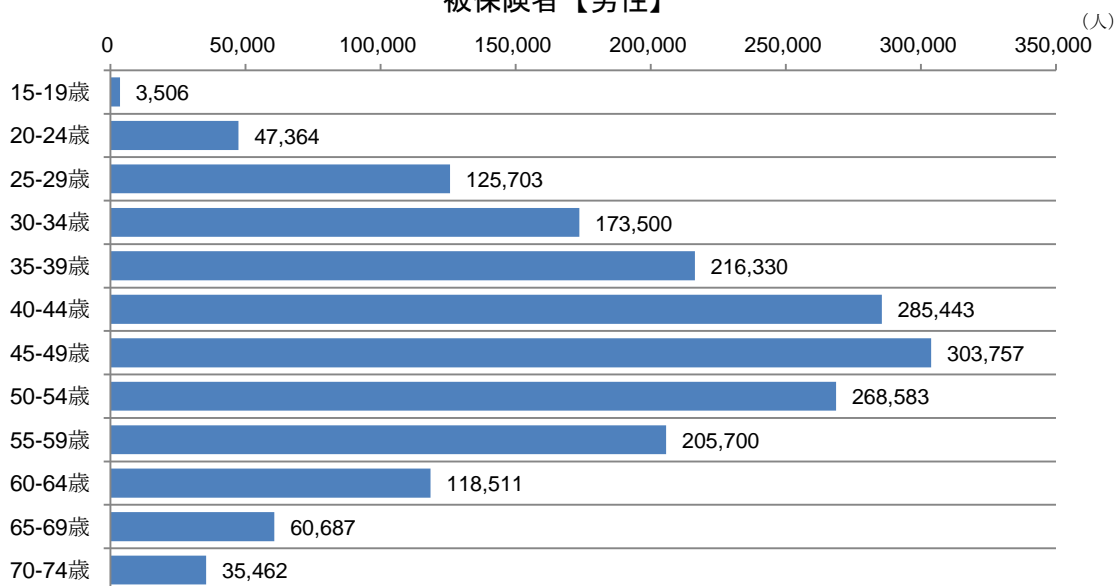


(2) 年齢階層別にみた有病者数（延べ人数）及び構成割合

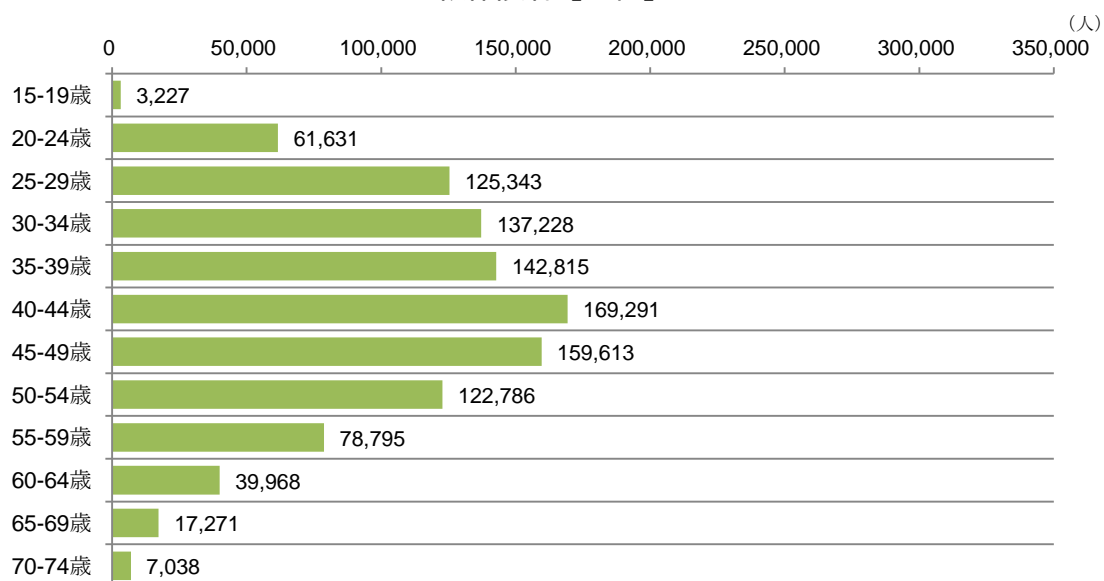
- 年齢階層別に「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の医科入院外における有病者数(延べ人数)をみると、男性では、45-49歳が最も多く、次いで40-44歳、50-54歳の順となっており、構成割合をみると(p.35)、40～54歳で全体の約5割を占めている。
- また、女性では、40-44歳が最も多く、次いで45-49歳、35-39歳となっており、構成割合をみると(p.35)、35～49歳で全体の約4割を占めており、男性に比べ年齢階層が低い傾向が示されている。

医科入院外：有病者数（延べ人数）

被保険者【男性】

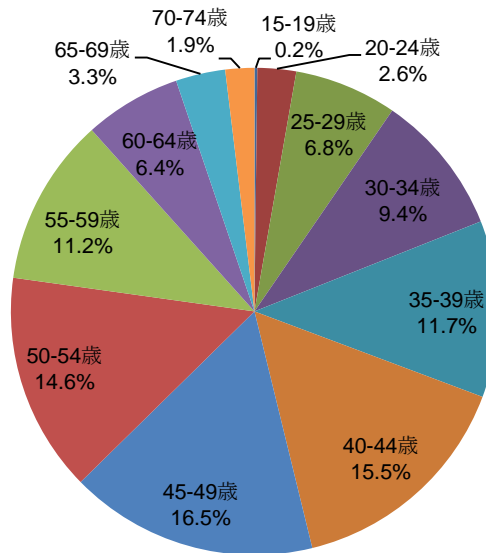


被保険者【女性】

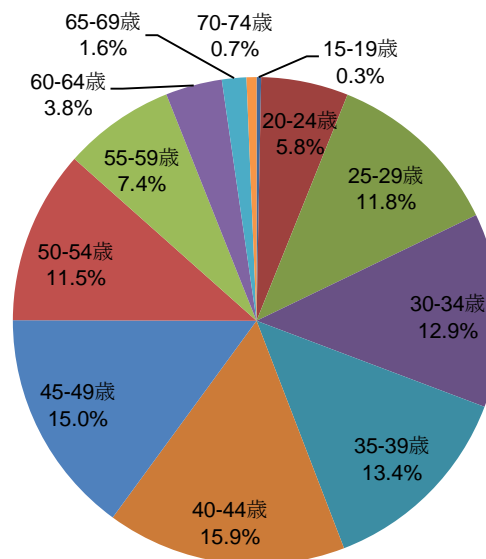


医科入院外：年齢階層別有病者の構成割合

被保険者【男性】



被保険者【女性】



(3) 1人当たり医療費及び医療費3要素

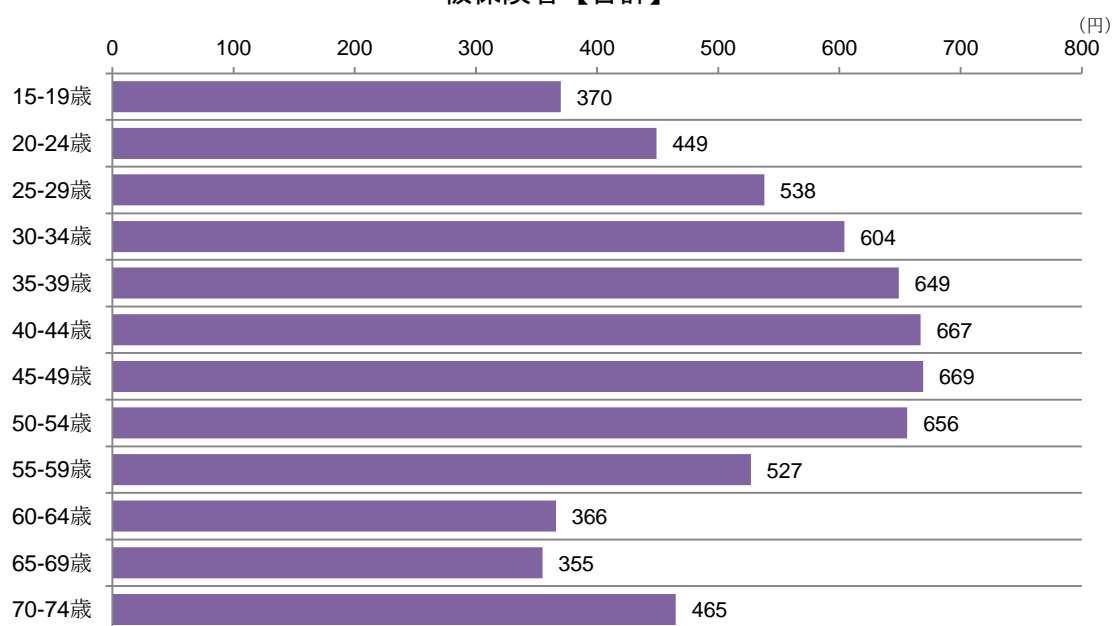
- 「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の医科入院外における1人当たり医療費は、合計:585円、男性:538円、女性:679円となっており、女性のほうが高くなっている。
- 女性の1人当たり医療費が高い要因について医療費3要素をみると、男性に比べ、受診率が高く、1日当たり医療費が高いことが挙げられる。

	区分	1人当たり医療費(円)	受診率(千人当たり)	1件当たり日数(日)	1日当たり医療費(円)
被保険者	合計	585	195.8	1.5	2,051
	男性	538	186.7	1.5	1,981
	女性	679	214.0	1.5	2,173

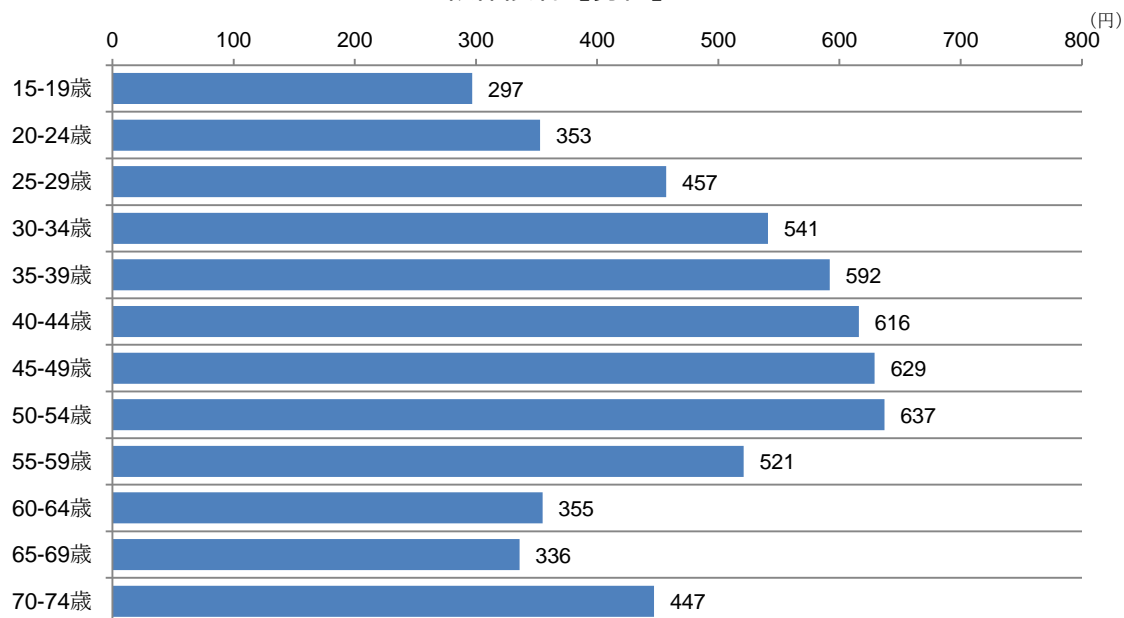
(4) 年齢階層別にみた1人当たり医療費

- 年齢階層別に「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の医科入院外における1人当たり医療費をみると、45-49歳:669円が最も高く、次いで、40-44歳:667円、50-54歳:656円となっている。
- 男女別でみると(p.37)、男性では50-54歳、45-49歳、40-44歳の順に高く、女性では40-44歳、45-49歳、35-39歳と、男性に比べ、比較的若い年齢層で高い傾向が示されている。

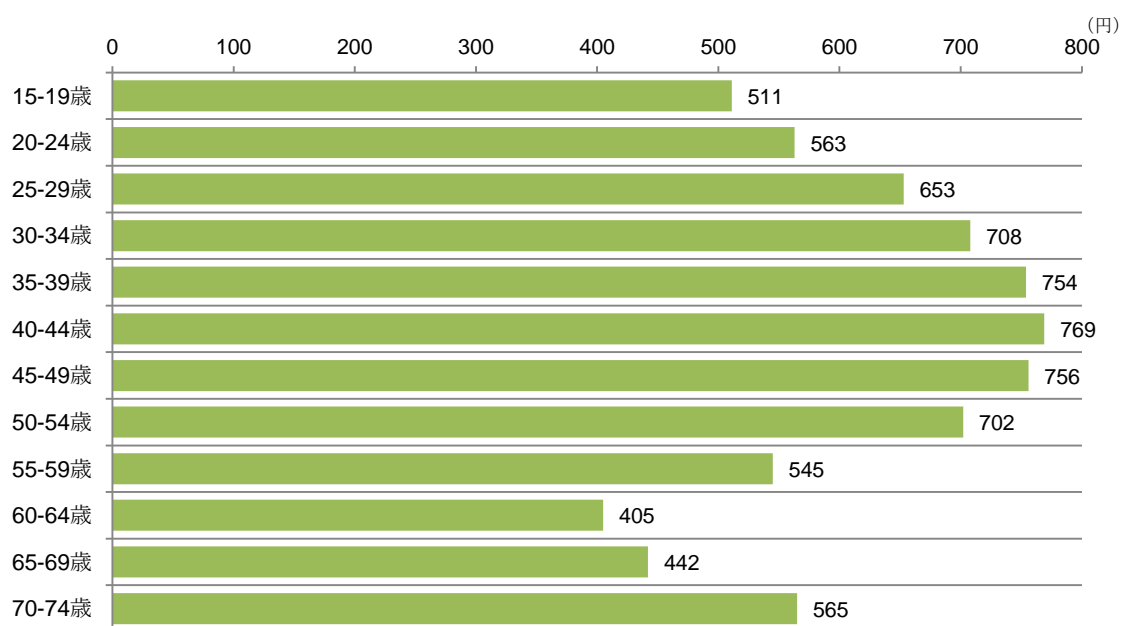
医科入院外：年齢階層別1人当たり医療費
被保険者【合計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



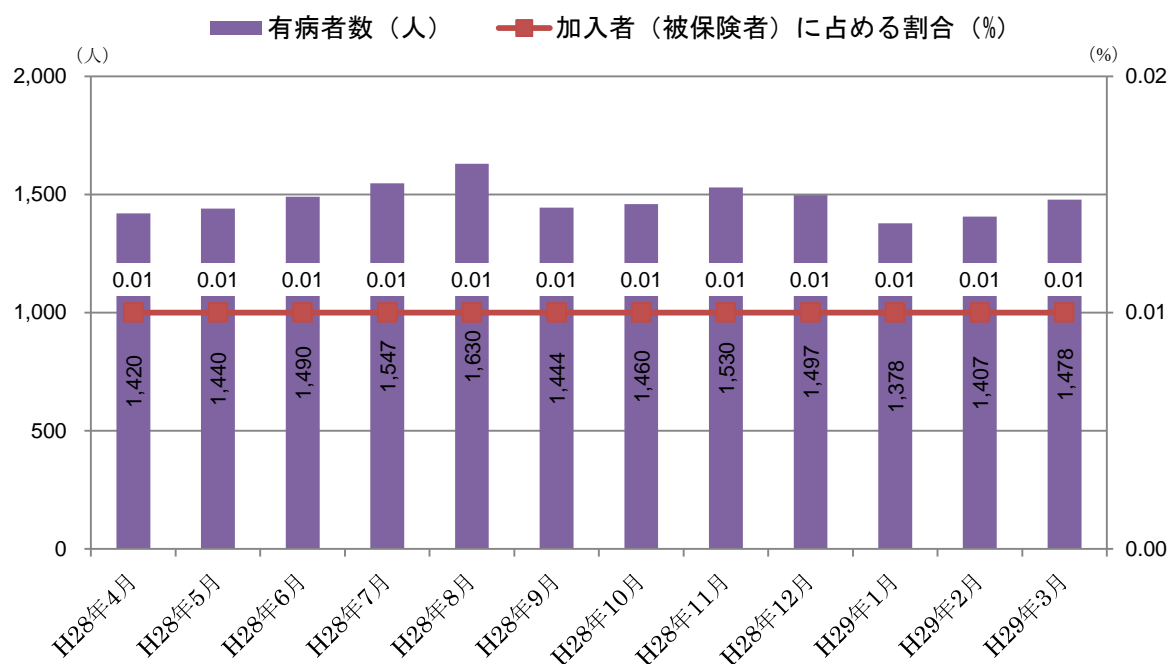
2. 医科入院

(1) 有病者数の動向

- 「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の医科入院における有病者数の割合は平均 0.01%となっており、男女別にみると男性・女性ともに 0.01%となっている。
- 月別推移をみると、どの月において概ね 0.01%で推移している。

被保険者に占める有病者数の割合(年間平均)		0.01%
	男性	0.01%
	女性	0.01%

医科入院：有病者数の月別推移
被保険者【男女計】

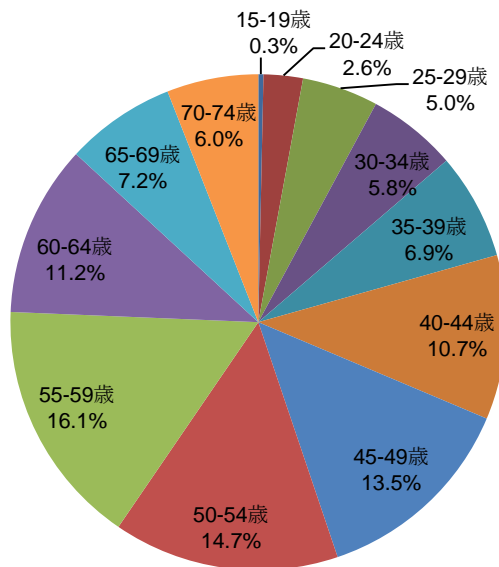


(2) 年齢階層別にみた有病者構成割合

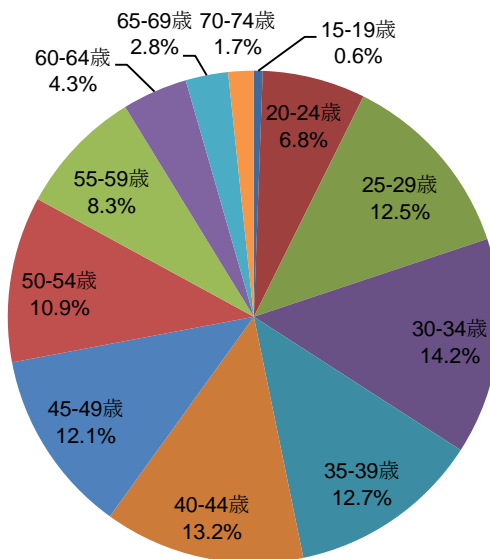
- 「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の医科入院における有病者の年齢階層別構成割合をみると、男性では、55-59歳：16.1%が最も高く、次いで、50-54歳：14.7%、45-49歳：13.5%となっており、45～59歳で全体の5割近くを占めている。
- 女性では、30-34歳：14.2%が最も高く、次いで、40-44歳：13.2%、35-39歳：12.7%となっており、30～44歳で全体の約4割を占め、男性に比べ、年齢階層が低い傾向が示されている。

医科入院：年齢階層別有病者の構成割合

被保険者【男性】



被保険者【女性】



(3) 推計1入院当たり医療費

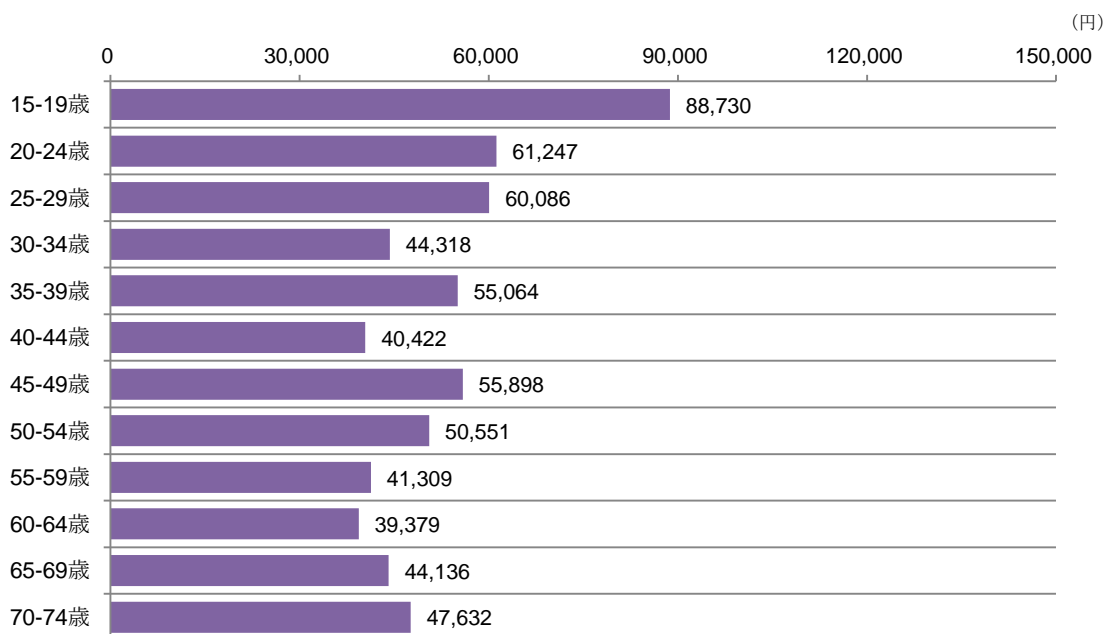
- 「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の推計1入院当たり医療費は、合計:4万8,850円に対し、男性:5万685円、女性:4万5,763円となっており、男性のほうが高くなっている。

	区分	推計1入院当たり医療費(円)
被 保 険 者	合計	48,850
	男性	50,685
	女性	45,763

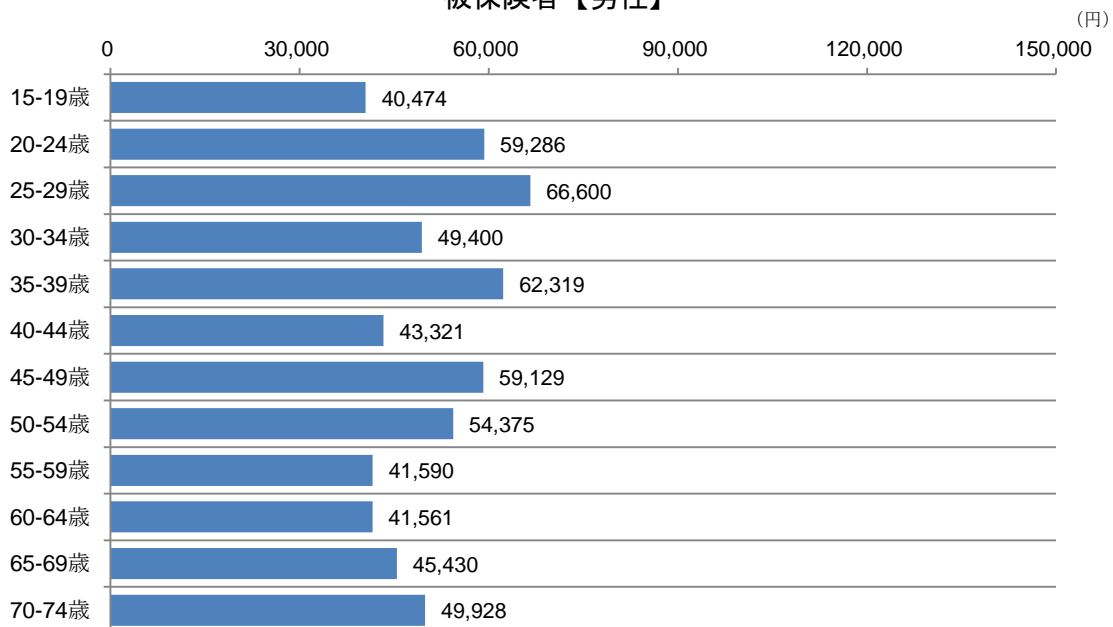
(4) 年齢階層別にみた推計1入院当たり医療費

- 年齢階層別に「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の推計1入院当たり医療費をみると、15-19歳:8万8,730円が最も高く、次いで、20-24歳:6万1,247円、25-29歳:6万86円となっている。
- 男女別にみると(p.41)、男性では、25-29歳、35-39歳、20-24歳の順に高く、女性では、15-19歳、20-24歳、25-29歳の順に高い。

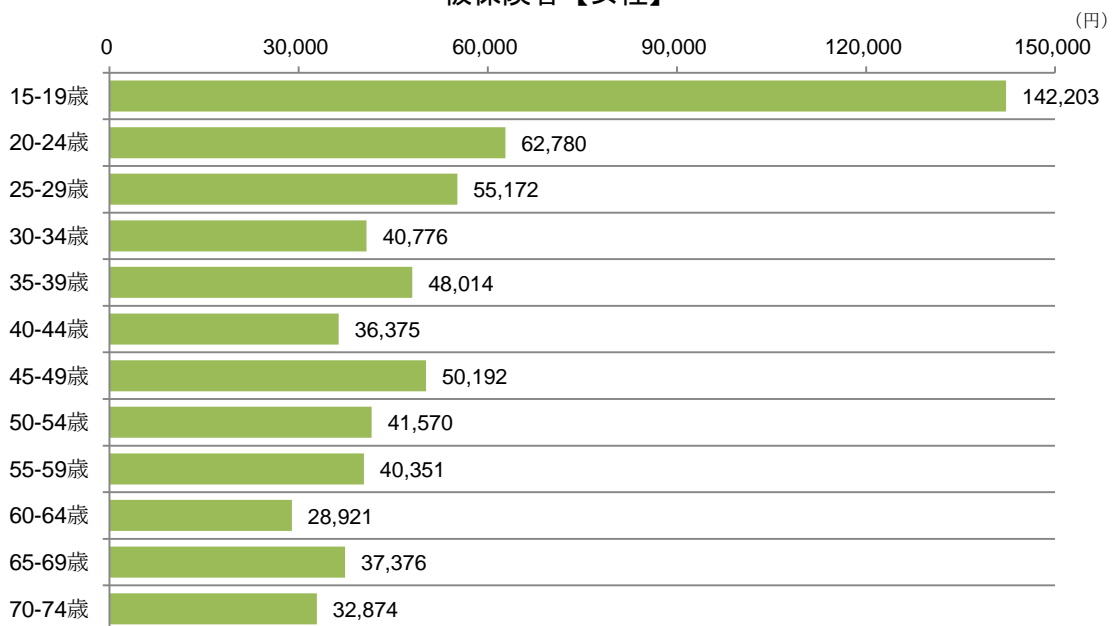
医科入院：推計1入院当たり医療費
被保険者【男女計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



(5) 推計平均在院日数

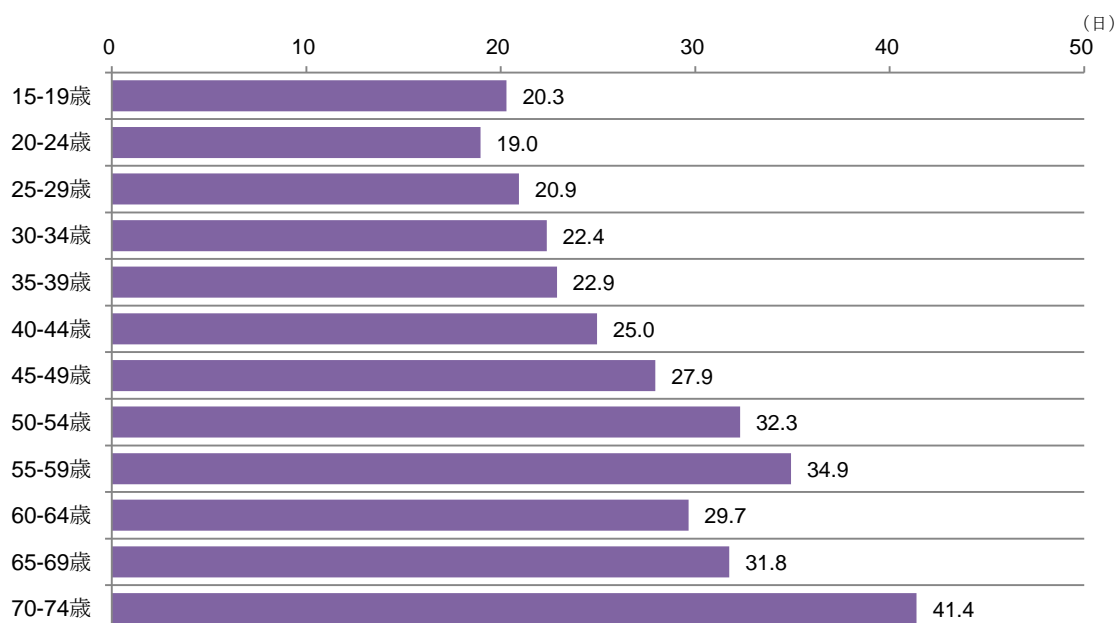
- 「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の推計平均在院日数をみると、合計:27.7 日に対して、男性:30.6 日、女性:22.7 日となっており、男性のほうが長い。

	区分	推計平均在院日数(日)
被 保 険 者	合計	27.7
	男性	30.6
	女性	22.7

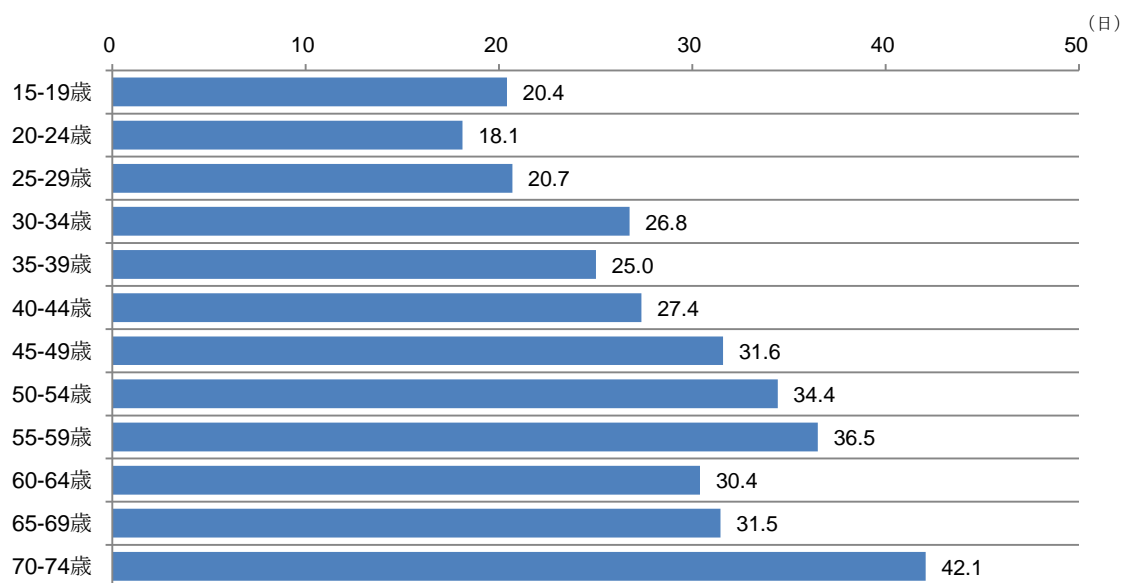
(6) 年齢階層別にみた推計平均在院日数

- 年齢階層別に「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の推計平均在院日数をみると、70-74 歳:41.4 日が最も長く、次いで、55-59 歳:34.9 日、50-54 歳 32.3 日となっている。
- 男女別にみると(p.43)、男性では、70-74 歳、55-59 歳、50-54 歳の順に高く、女性では、70-74 歳、65-69 歳、55-59 歳の順に長い。

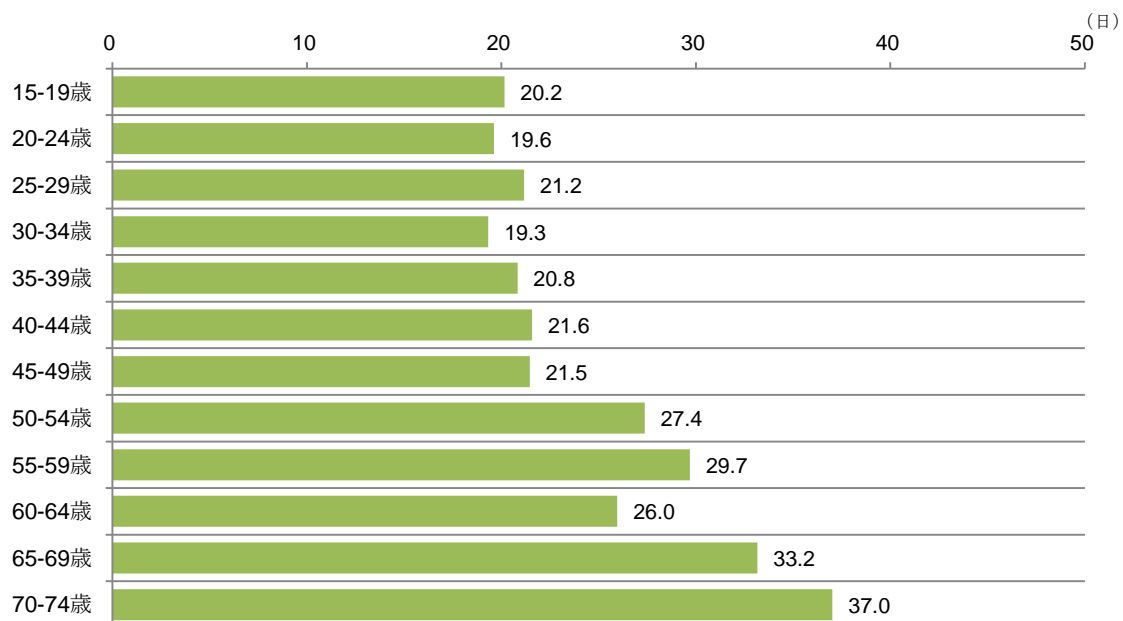
年齢階層別推計平均在院日数
被保険者【男女計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



(7) 千人当たり推計新規入院件数

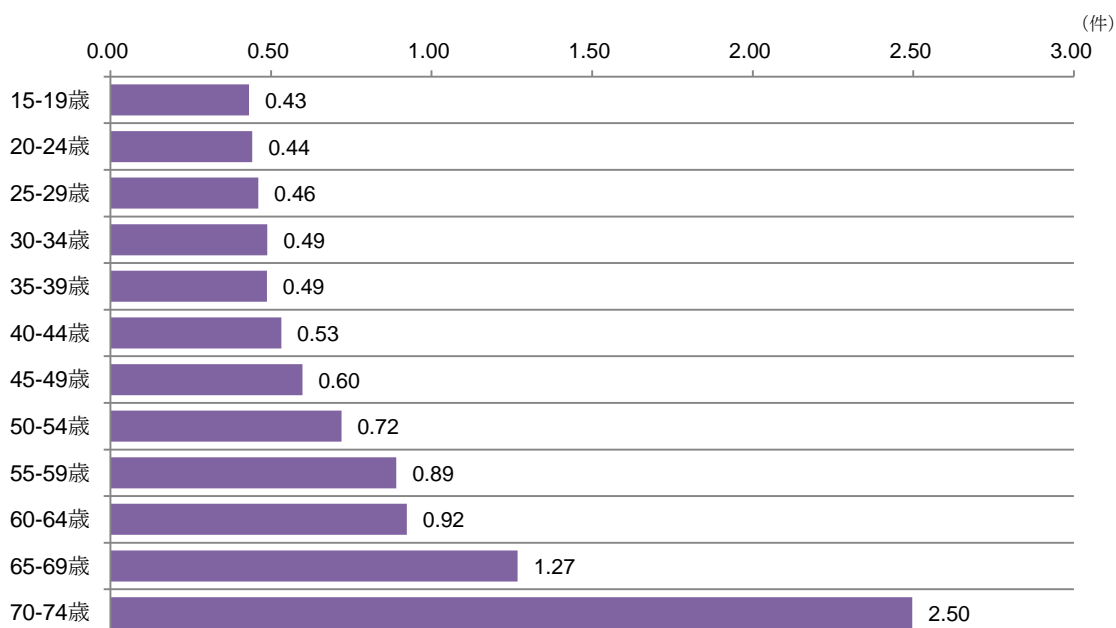
- 「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の千人当たり推計新規入院件数をみると、合計:0.62 件に対して、男性:0.59 件、女性:0.70 件となっており、女性のほうがやや多い。

	区分	千人当たり推計新規入院件数(件)
被 保 険 者	合計	0.62
	男性	0.59
	女性	0.70

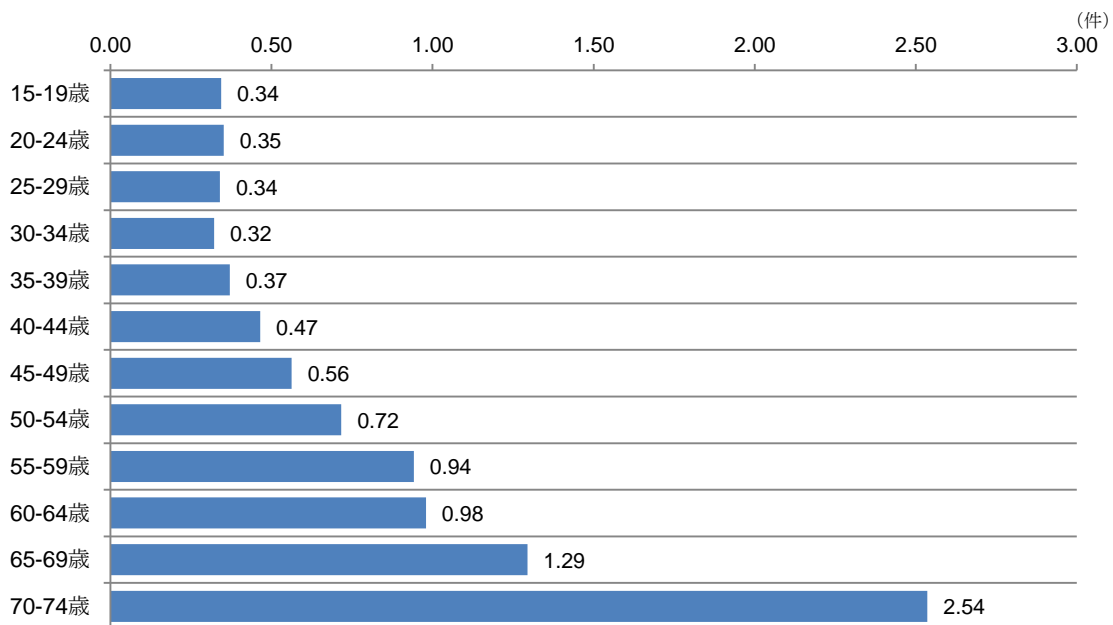
(8) 年齢階層別にみた千人当たり推計新規入院件数

- 年齢階層別に「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」の千人当たり推計新規入院件数をみると、70-74 歳:2.50 件が最も多く、次いで、65-69 歳:1.27 件、60-64 歳:0.92 件となっている。
- 男女別にみると(p.45)、男性では、70-74 歳、65-69 歳、60-64 歳の順に多く、女性では、70-74 歳、65-69 歳、60-64 歳の順に多い。

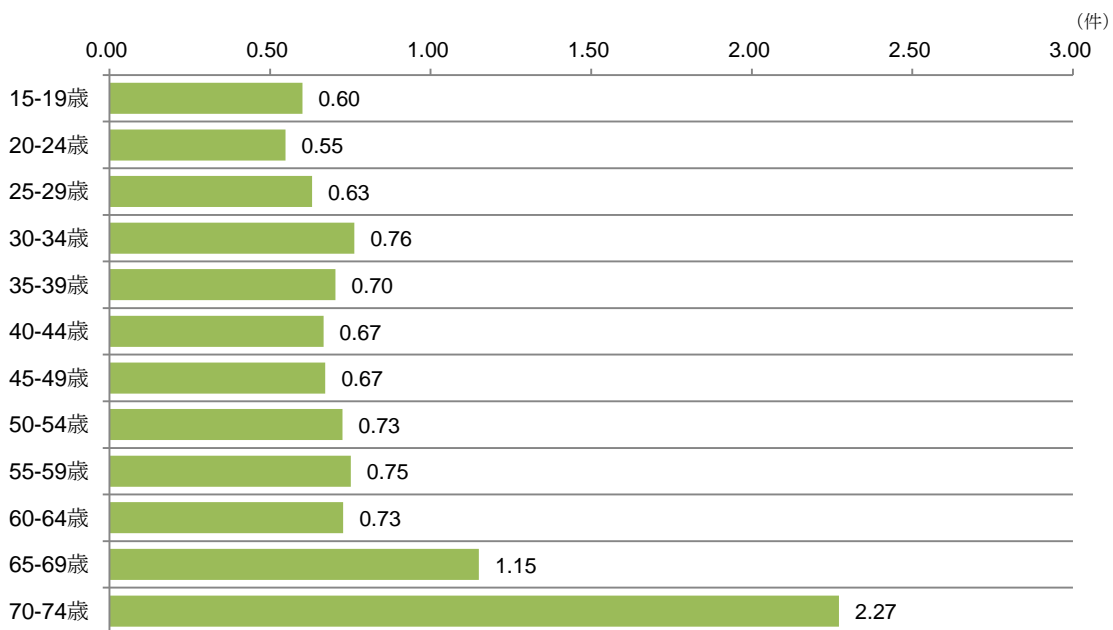
年齢階層別千人当たり推計新規入院件数
被保険者【男女計】



被保険者【男性】



被保険者【女性】



用語の定義

① 有病者数：

有病者数は、レセプト上に当該傷病名の記載がある受診者の数である（なお、レセプト上に複数の傷病名の記載がある場合には、それぞれの傷病名ごとに人数をカウントしている。また、1受診者に複数のレセプトがある場合には、傷病名で名寄せして傷病名ごとに1とカウントしている）。

② 疾病別医療費：

レセプトに記載された一ないし複数の傷病名に対して、各傷病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、同一レセプトの医療費を疾病ごとに振り分けた結果をもとに算出している。

③ 受診率（1,000人当たり件数）：

当該年度の受診率は、当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除し1,000倍したものである。

④ 1件当たり日数：

当該年度の1件当たり日数は、当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したものである。

⑤ 1日当たり医療費：

当該年度の1日当たり医療費は、当該年度の医療費を診療実日数で除したものである。

⑥ 1人当たり医療費：

当該年度の1人当たり医療費は、当該年度の医療費を、当該年度末の平均加入者数で除したものである。

⑦ 推計1入院当たり医療費：

入院患者1人にかかる、入院してから退院までの医療費の推計値である。

⑧ 推計平均在院日数：

退院日を含む平均在院日数の推計値である。

⑨ 推計新規入院件数：

当該年度の4月～3月までの各月に入院した患者数の合計（推計値）である。

参考

○ 1人当たり医療費と医療費3要素分解の算定式

1人当たり医療費

$$= [\text{医療費}] \div [\text{加入者数}]$$

$$= \textcircled{1} \text{受診率} ([\text{レセプト件数}] \div [\text{加入者数}]) \times$$

$$\textcircled{2} \text{1件当たり日数} ([\text{日数}] \div [\text{レセプト件数}]) \times$$

$$\textcircled{3} \text{1日当たり医療費} ([\text{医療費}] \div [\text{日数}])$$

○ 医科入院医療費の3要素分解の算定式 ※網掛け部分は従来の医療費3要素

$$\textcircled{1} \text{推計1入院当たり医療費} = \text{推計平均在院日数} \times \text{1日当たり医療費}$$

$$\textcircled{2} \text{推計平均在院日数} = \text{1件当たり日数} \times \frac{\text{月の日数}-1 \text{日}}{\text{月の日数}-\text{1件当たり日数}}$$

$$\textcircled{3} \text{千人当たり推計新規入院件数} = \text{受診率(件)} \times \frac{\text{月の日数}-\text{1件当たり日数}}{\text{月の日数}-1 \text{日}}$$

※月の日数(暦日数であり、レセプト日数ではない)

・「単月」の場合は1ヵ月の日

例)1月の場合は31日、2月の場合は28日及び29日(閏年)

・「複数月」の場合は複数月の日数の合計を月数で割ったもの

例)12ヵ月の場合:365(366)日÷12=30.42(30.5)